

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 浜松市社会福祉事業団

目 次

I	事業報告	1
1	概況	1
2	事業実績及び収支状況	2
3	理事会・評議員会・監査の状況	7
II	付属明細書	9
1	友愛のさと診療所・療育センター	10
2	子どものこころの診療所	13
3	相談支援事業所「シグナル」	16
4	相談支援事業所「シグナルリバティ」	18
5	発達相談支援センター「ルピロ」	20
6	児童発達支援センター「ひまわり」	22
7	浜松市発達支援広場事業・保育所等巡回支援事業	29
8	児童発達支援事業所「ひまわり ひくまの丘」	30
9	児童発達支援事業所「ひまわり こころん」	32
10	生活介護・就労継続支援施設「かがやき」	34
11	就労継続支援施設「はばたき」	36
12	障害者生活介護施設「ふれんず」	37
13	地域活動支援センター「オルゴール」	38
14	身体障害者福祉センター	39
15	障害者体育館・プール	39
16	法人組織・職員構成	40

I 事業報告

1 概況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

事業			単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対計画 増減率	対前年度 増減率	
① 指定管理事業	ア 医療部門	友愛のさと診療所		人	43,805	43,753	45,500	48,072	5.7%	9.9%
		子どものこころの診療所		人	26,915	28,917	29,000	29,503	1.7%	2.0%
		訪問事業（診療・看護・リハビリテーション）		人	1,169	1,269	1,140	1,487	30.4%	17.2%
		小計		人	71,889	73,939	75,640	79,062	4.5%	6.9%
	イ 療育・福祉部門	医療型特定短期入所		人	113	191	440	213	△51.6%	11.5%
		療育センター		人	3,167	3,469	2,634	3,342	26.9%	△3.7%
		相談支援事業所「シグナル」		人	24,081	24,459	19,595	20,174	3.0%	△17.5%
		児童発達支援センター 「ひまわり」	重心	人	2,616	2,357	2,300	1,765	△23.3%	△25.1%
			重心以外	人	14,257	13,241	14,100	10,100	△28.4%	△23.7%
			親子通園	人	3,856	4,808	4,300	3,720	△13.5%	△22.6%
			居宅訪問支援	人	63	39	110	68	△38.2%	74.4%
		生活介護・就労継続支援施設 「かがやき」	保育所等訪問	人	403	428	340	497	46.2%	16.1%
			生活介護	人	10,974	10,885	11,300	10,381	△8.1%	△4.6%
			就労継続	人	1,876	2,019	2,300	2,229	△3.1%	10.4%
		就労継続支援施設「はばたき」		人	4,601	4,756	5,400	4,799	△11.1%	0.9%
		障害者生活介護施設「ふれんず」		人	4,972	4,401	5,150	4,488	△12.9%	2.0%
		身体障害者福祉センター		人	1,341	1,409	2,540	1,505	△40.7%	6.8%
		障害者体育館・プール		人	13,823	14,679	19,300	13,855	△28.2%	△5.6%
		福祉バス		人	1,439	1,743	2,200	1,926	△12.5%	10.5%
	小計		人	87,582	88,884	92,009	79,062	△14.1%	△11.1%	
	合計		人	159,471	162,823	167,649	158,124	△5.7%	△2.9%	
② 受託事業	地域活動支援センター「オルゴール」		人	2,764	2,946	3,100	2,666	△14.0%	△9.5%	
	浜松市発達支援広場（中区）		組	305	409	800	411	△48.6%	0.5%	
	浜松市発達支援広場（浜北区・天竜区）		組	281	435	800	401	△49.9%	△7.8%	
	浜松市発達支援広場（施設型）		組	679	774	800	671	△16.1%	△13.3%	
	浜松市保育所等巡回支援事業		件	435	299	300	333	11.0%	11.4%	
	浜松市家庭訪問支援事業		人	12	12	12	12	0.0%	0.0%	
	医療的ケア児等コーディネーター事業		件	—	364	—	462	—	26.9%	
	発達相談支援センター「ルピロ」		件	5,975	6,799	6,255	6,779	8.4%	△0.3%	
	難病患者等リフレッシュ事業		人	22	0	30	0	△100.0%	—	
	小中学校訪問看護事業		人	278	115	130	104	△20.0%	△9.6%	
	合計		件	10,751	12,153	12,227	11,839	△3.2%	△2.6%	
③ 自主事業	児童発達支援事業所 「ひまわり ひくまの丘」	親子通園	人	2,468	2,589	2,550	1,995	△21.8%	△22.9%	
		保育所等訪問	人	74	74	95	73	△23.2%	△1.4%	
	児童発達支援事業所 「ひまわり こころん」	毎日通園	人	2,176	2,004	2,200	1,878	△14.6%	△6.3%	
		保育所等訪問	人	6	0	10	2	△80.0%	—	
	相談支援事業所「シグナルリバティ」		人	—	—	4,830	3,338	△30.9%	皆増	
	合計		人	4,724	4,667	9,685	7,286	△24.8%	56.1%	
総計 ①+②+③			件	174,946	179,643	189,561	177,249	△6.5%	△1.3%	

2 事業実績及び収支状況

【1】指定管理事業（医療部門）

【対象施設】：友愛のさと診療所、子どものこころの診療所

- ・両診療所ともに医師を増員し、多くの患者を積極的に受け入れたことで診察人数、利用料金収入ともに前年度を大きく上回った。

表 1 延べ診察人数の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対計画増減
実績		71,889人	73,939人	75,640人	79,062人	3,422人
対前年度 比較	増減	2,950人	2,050人	—	5,123人	—
	増減率	4.3%	2.9%	—	6.9%	4.5%

表 2 利用料金収入の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対計画増減
実績		472,953千円	495,577千円	506,796千円	558,121千円	51,325千円
対前年度 比較	増減	12,268千円	22,624千円	—	62,544千円	—
	増減率	2.7%	4.8%	—	12.6%	10.1%

【2】指定管理事業（療育・福祉部門）

【対象施設】：友愛のさと診療所(医療型特定短期入所)、療育センター、
シグナル（相談事業）、
ひまわり、かがやき、はばたき、ふれんず、
身体障害者福祉センター、障害者体育館・プール、福祉バス

- ・新型コロナウイルス感染症の感染者が多数発生し、欠席や利用を自粛する者が多くいたこと、また施設の利用定員を遵守するため、特にひまわりで契約者数を減らしたことで、利用者数、利用料金収入ともに前年度に届かなかった。

表 3 延べ利用人数の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対計画増減
実績		87,582人	88,884人	92,009人	79,062人	△12,947人
対前年度 比較	増減	△5,702人	1,302人	—	△9,822人	—
	増減率	△6.1%	1.5%	—	△11.1%	△14.1%

表 4 利用料金収入の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対計画増減
実績		594,371千円	634,739千円	643,428千円	571,535千円	△71,893千円
対前年度 比較	増減	11,022千円	40,368千円	—	△63,204千円	—
	増減率	1.9%	6.8%	—	△10.0%	△11.2%

【3】受託事業・自主事業

【受託事業】：地域活動支援センターⅡ型事業（オルゴール）、
発達支援広場事業（ひまわり）、保育所等巡回支援事業（ひまわり）、
家庭訪問支援事業（シグナル）、発達障害者支援センター事業（ルピロ）、
小中学校訪問看護事業（友愛のさと診療所）、
医療的ケア児者等コーディネーター事業（シグナル）
【自主事業】：児童発達支援事業所（ひまわり ひくまの丘、ひまわり こころん）
相談支援事業所（シグナルリバティ）

- ・7月から新たな自主事業の相談支援事業所「シグナルリバティ」を開設した。
- ・シグナルリバティの開設に伴い、利用者数、収入ともに前年度を上回ったが、新型コロナウイルス感染症の感染者が多く発生したことと、「ひまわりひくまの丘」で定員を守るために契約者数を減らしたことにより計画値には届かなかった。

表 5 受託事業・自主事業の延べ利用者数の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対計画増減
	実績	15,475人	16,820人	21,912人	19,125人	△2,787人
対前年度 比較	増減	△1,001人	1,345人	—	2,305人	—
	増減率	△6.1%	8.7%	—	13.7%	△12.7%

表 6 受託事業・自主事業の収入の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対計画増減
	実績	204,993千円	206,128千円	229,010千円	210,086千円	△18,924千円
対前年度 比較	増減	5,385千円	1,135千円	—	3,958千円	—
	増減率	2.7%	0.6%	—	1.9%	△8.3%

【4】苦情の状況

令和4年度の苦情とその対応状況

受付日	主な苦情	改善策等
11月17日	事業団職員が運転する車（浜松市貸与車両）に煽られたとの市民からの苦情が浜松市に寄せられた。	運転者に安全運転管理者が注意、指導を行った。
2月22日	ひまわり利用児がけがをした事故について、被害者側から加害者側に事実を伝えることと、加害者側からの謝罪がほしいという要望があった。	・加害者側の保護者に伝えたところ、相手への謝罪を希望されたため両者が会う場を設定した。 ・今後は怪我をさせた児の保護者にもひまわりから事実を伝え、お子さんの支援について一緒に考えていく。

【5】資金収支状況

(1) 利用料金収入

- ・医療事業収入と障害福祉サービス等事業収入からなる利用料金収入は、医療事業収入は増額したが、施設の利用料金収入の減額が大きく、計画、前年度とも下回った。

表 7 利用料金収入の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対計画増減
実績		1,067,324千円	1,130,316千円	1,150,224千円	1,129,657千円	△20,567千円
対前年度 比較	増減	23,290千円	62,992千円	—	△659千円	—
	増減率	2.2%	5.9%	—	△0.1%	△1.8%

(2) 指定管理料

表 8 指定管理料の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
実績		243,384千円	238,034千円	235,873千円
対前年度 比較	増減	1,338千円	△5,350千円	△2,161千円
	増減率	0.6%	△2.2%	△0.9%

(3) 資金収支状況

表 9 事業活動資金収支差額の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対計画増減
実績		72,553千円	106,526千円	5,256千円	△31,575千円	△36,831千円
対前年度 比較	増減	25,407千円	33,973千円	—	△138,101千円	—

(4) 内部留保

表 10 内部留保額の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設設備等 整備積立金		50,000千円	50,000千円	50,000千円
財政調整 積立金		120,330千円	160,480千円	124,851千円
次期繰越活動 増減差額		229,327千円	262,351千円	263,710千円
計 (内部留保額)		399,657千円	472,831千円	438,561千円
対前年度 比較	増減	20,984千円	73,174千円	△34,270千円
	増減率	5.5%	18.3%	△7.2%

3 理事会・評議員会・監査の状況

【1】理事会

区 分	開催年月日	出席者数	議 事 内 容
第1回	令和4年4月1日(金)	理事 7人 監事 2人 ※決議の省略	決議事項 1 評議員(補欠評議員)選任候補者2名の推薦の件 2 令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の招集の件
第2回	令和4年5月27日(金) 場所: 浜松市発達医療 総合福祉センター 文化棟 ホール	理事 7人 監事 1人 <欠席> 監事 1人	決議事項 1 令和3年度事業報告(案)及び決算(案)の承認の件 2 令和4年度定時評議員会の招集の件 3 相談支援事業所の整備の件 4 施設長等の選任の件 報告事項 ・ 理事長の職務執行状況報告の件 ・ 浜松市発達障害者支援地域協議会の初診待機への対応について
第3回	令和4年11月30日(水)	理事 7人 監事 2人 ※決議の省略	決議事項 1 役員等の報酬並びに費用弁償支給規程の一部改正の件 2 職員給与規程等の一部改正の件 3 令和4年度第2回臨時評議員会の招集の件
第4回	令和5年3月13日(月) 場所: 浜松市役所 本館8階 第4委員会室	理事 5人 監事 1人 <欠席> 理事 2人 監事 1人	決議事項 1 令和4年度資金収支補正予算(案)の同意の件 2 経理規程の一部改正の件 3 令和5年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)の同意の件 4 施設長等の選任・解任の件 5 令和4年度第3回臨時評議員会の招集の件 報告事項 理事長の職務執行状況報告の件
第5回	令和5年3月31日(金)	理事 7人 監事 2人 ※決議の省略	決議事項 1 施設長等の選任・解任の件 2 評議員選任・解任委員(補欠委員)2名選任の件 3 理事(補欠理事)候補者1名選定の件 4 評議員(補欠評議員)候補者3名推薦の件 5 令和5年度第1回評議員選任・解任委員会の招集の件 6 令和5年度第1回臨時評議員会の招集の件

【2】評議員会

区 分	開催年月日	出席者数	議 事 内 容
定時	令和4年6月17日(金) 場所: 浜松市発達医療 総合福祉センター 文化棟 ホール	評議員 8人 監事 2人 <欠席> 評議員 1人	決議事項 1 令和3年度決算(案)の承認の件 報告事項 令和3年度事業報告の件
第2回臨時	令和4年11月30日(水)	評議員 9人 ※決議の省略	決議事項 1 役員等の報酬並びに費用弁償支給規程の一部改正の件
第3回臨時	令和5年3月29日(水) 場所: 浜松市役所 本館8階 第3委員会室	評議員 7人 <欠席> 評議員 1人 <欠員> 評議員 1人	決議事項 1 令和4年度資金収支補正予算(案)の承認の件 2 令和5年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)の承認の件

【3】評議員選任・解任委員会

区 分	実施年月日	監査人	監 査 内 容
第1回	令和4年4月1日(金)	評議員選任・ 解任委員 5人 ※決議の省略	決議事項 1 評議員(補欠評議員)2名の選任の件

【4】監査

区 分	実施年月日	監査人	監 査 内 容
決算監査	令和4年5月20日(金)	監事 2人	令和3年度決算監査(会計及び業務監査)
中間監査	令和4年11月22日(火)	監事 2人	令和4年度中間監査

Ⅱ 付属明細書

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

【 1 】 友愛のさと診療所・療育センター

項 目			単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率	
新 患 患 者 数			人	572	522	600	595	14.0%	
診 療 科 別	精 神 科	診療実日数	日	243	242	243	243	0.4%	
		延 べ 人 数	人	23,396	23,879	26,900	28,409	19.0%	
		1 日 平 均	人	96.3	98.7	110.7	116.9	18.5%	
	小 児 科	診療実日数	日	243	242	243	243	0.4%	
		延 べ 人 数	人	19,407	18,891	17,600	18,637	△1.3%	
		1 日 平 均	人	79.9	78.1	72.4	76.7	△1.8%	
	整 形 外 科	診療実日数	日	24	24	24	23	△4.2%	
		延 べ 人 数	人	477	490	500	499	1.8%	
		1 日 平 均	人	19.9	20.4	20.8	21.7	6.3%	
	耳 鼻 咽 喉 科	診療実日数	日	20	22	24	21	△4.5%	
		延 べ 人 数	人	114	100	100	107	7.0%	
		1 日 平 均	人	5.7	4.5	4.2	5.1	12.1%	
	眼 科	診療実日数	日	43	42	40	45	7.1%	
		延 べ 人 数	人	411	393	400	420	6.9%	
		1 日 平 均	人	9.6	9.4	10.0	9.3	△0.3%	
合 計		延 べ 人 数	人	43,805	43,753	45,500	48,072	9.9%	
利 用 料 金（医 業 収 入）			円	287,558,773	292,276,992	303,180,000	323,617,756	10.7%	
1 人 あ た り の 平 均 単 価			円	6,565	6,680	6,663	6,732	0.8%	
イ ン テ ー ク 面 接(シグナルが実施)				件	594	556	600	635	14.2%
投 薬	処方箋による調剤	院 内	枚	51	53	50	62	17.0%	
		院 外	枚	11,145	11,670	11,000	11,532	△1.2%	
	合 計		処 方 枚 数	枚	11,196	11,723	11,050	11,594	△1.1%
各 種 検 査	X 線 検 査	延 べ 件 数	件	131	130	140	134	3.1%	
	脳 波 検 査	延 べ 件 数	件	99	84	100	96	14.3%	
	聴性脳幹反応検査	延 べ 件 数	件	4	0	5	4	－	
	聴 力 検 査	延 べ 件 数	件	27	14	30	17	21.4%	
	言語発達検査	延 べ 件 数	件	104	91	100	82	△9.9%	
	腹部超音波検査	延 べ 件 数	件	0	1	5	1	－	
	血 液 検 査	延 べ 件 数	件	165	175	160	195	11.4%	
	尿 検 査	延 べ 件 数	件	50	31	50	36	16.1%	
合 計		件	580	526	590	565	7.4%		
項 目			単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率	
個 別 指 導	理 学 療 法	訓練実日数	日	243	242	243	243	0.4%	
		延 べ 人 数	人	5,589	5,666	5,500	5,157	△9.0%	
		1 日 平 均	人	23.0	23.4	22.6	21.2	△9.4%	
	作 業 療 法	訓練実日数	日	243	242	243	243	0.4%	
		延 べ 人 数	人	4,216	4,131	4,980	3,922	△5.1%	
		1 日 平 均	人	17.3	17.1	20.5	16.1	△5.8%	
	言 語 聴 覚 療 法	訓練実日数	日	243	242	243	243	0.4%	
		延 べ 人 数	人	3,586	2,763	3,000	2,736	△1.0%	
		1 日 平 均	人	14.8	11.4	12.3	11.3	△0.9%	
	視 能 訓 練	訓練実日数	日	229	225	220	230	2.2%	
		延 べ 人 数	人	667	641	720	662	3.3%	
		1 日 平 均	人	2.9	2.8	3.3	2.9	3.6%	
	臨 床 心 理	訓練実日数	日	243	242	243	243	0.4%	
		延 べ 人 数	人	9,997	10,034	9,300	10,195	1.6%	
		1 日 平 均	人	41.1	41.5	38.3	42.0	1.2%	
合 計		延 べ 人 数	人	24,055	23,235	23,500	22,672	△2.4%	

項 目			単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
集	早期支援グループ (もぐもぐ のびのび パンダ つばめ)	実施回数	回	61	69	60	70	1.4%
		延べ人数	人	346	310	280	254	△18.1%
		1回平均	人	5.7	4.5	4.7	3.6	△20.0%
団	心理支援グループ	実施回数	回	73	54	32	50	△7.4%
		延べ人数	人	416	309	320	315	1.9%
		1回平均	人	5.7	5.7	10.0	6.3	10.5%
指	ピ ア ク ラ ブ	実施回数	回	35	43	42	43	0.0%
		延べ人数	人	162	390	300	383	△1.8%
		1回平均	人	4.6	9.1	7.1	8.9	△2.2%
導	学童期吃音児への 小 集 団 支 援	実施回数	回	4	5	5	5	0.0%
		延べ人数	人	13	8	20	8	0.0%
		1回平均	人	3.3	1.6	4.0	1.6	0.0%
合 計		延べ人数	人	937	1,017	920	960	△5.6%

【訪問事業】

項 目			単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
訪 問 事 業	訪 問 診 療	事 業 日 数	日	243	242	243	243	0.4%
		延 べ 人 数	人	331	362	340	417	15.2%
		1 日 平 均	人	1.4	1.5	1.4	1.7	13.3%
	訪 問 看 護	事 業 日 数	日	0	0	0	0	－
		延 べ 人 数	人	0	0	0	0	－
		1 日 平 均	人	0.0	0.0	0.0	0.0	－
	訪問リハビリテーション	事 業 日 数	日	243	242	243	243	0.4%
		延 べ 人 数	人	838	907	800	1,070	18.0%
		1 日 平 均	人	3.4	3.7	3.3	4.4	17.5%
合 計		延 べ 人 数	人	1,169	1,269	1,140	1,487	17.2%

【委託事業】

項 目			単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
難病患者等介護家族 リフレッシュ事業	就学	延べ人数	人	22	0	0	0	－
	在宅	延べ人数	人	0	0	0	0	－
小中学校訪問看護業務		延べ人数	人	278	115	300	104	△9.6%

【医療型特定短期入所事業（一時預り）】

【根拠法令等：障害者総合支援法第5条8項】

利 用 定 員	1日2名
主 た る 対 象	医療的ケアの必要な重症心身障害児
サ ー ビ ス 提 供 日	月曜日から金曜日（友愛のさと診療所開業日）
サ ー ビ ス 提 供 時 間	9:00～17:00

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
医療型特定短期入所 （いちごショート）	開 所 日 数	日	243	242	243	243	0.4%
	延 べ 人 数	人	113	191	440	213	11.5%
	1 日 平 均	人	0.5	0.8	1.8	0.9	14.0%
利 用 料 金		円	3,408,470	5,726,699	13,640,000	6,622,685	15.6%

【療育センター事業】

項 目				単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
支障 害児等療育 事業	教 育 機 関 へ の 支 援 ※教育委員会との 発達教育研修含む	個別	延 べ 人 数	人	99	222	140	226	1.8%
		集団	実 施 回 数	回	12	10	14	11	10.0%
			延 べ 人 数	人	126	149	随時	166	11.4%
	特 別 支 援 学 校 へ の 支 援	集団	延 べ 人 数	人	0	3	40	23	666.7%
療 育 推 進 事 業	親子交流あそび広場 (うずらちゃん広場)	開 催 回 数	回	31	35	40	40	14.3%	
		延 べ 人 数	人	579	756	1,000	784	3.7%	
	おもちゃ貸出	延 べ 人 数	人	297	282	320	334	18.4%	
	プレイポート開放	延 べ 人 数	人	1,970	1,947	1,000	1,735	△10.9%	
	うずらちゃん広場 個 別 相 談	延 べ 人 数	人	96	110	120	74	△32.7%	
合 計		延 べ 人 数	人	3,167	3,469	-	3,342	△3.7%	

《友愛のさと診療所事業》

- 令和5年3月末の初診待機患者は240人で、待機期間は6～7ヶ月となっている。新患患者数は595人で前年度比14.0%の増となった。
- 年齢別では3歳にピークがあり、0歳から6歳までの就学前の年齢で過半数以上を占め、前年度とほぼ同じ傾向であった。地域別では浜北区と東区の割合が高く、全体の約50%を超えた。疾患別では自閉症スペクトラム障害、注意欠陥多動性障害で全体の約55%を占めた。
- 個別指導では、理学療法が職員配置の関係で減少した（前年度比△9.0%）。その他の部門では臨床心理以外は減少となったが、ほぼ前年度並みの件数であった。
- 早期支援グループでは、肢体不自由児支援グループの該当者が減ったため前年度比△18.1%となった。
- 訪問事業は、訪問リハビリテーションの延べ人数が前年度比18.0%増、訪問診療は同15.2%増となった。医療型特定短期入所事業は、予約枠空き状況の確認ができるシステムを構築した影響で、前年度比11.5%増となった。

《療育センター事業》

- 障害児等療育支援事業は、令和4年度から特別支援学校で理学療法士、作業療法士による継続的な支援を行ったため人数が増加した。

【 2 】 子どものこころの診療所

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
新 患 患 者 数		人	754	837	720	852	1.8%
インテーク面接を行った新患件数		件	599	669	—	690	3.1%
精 神 科	診療実日数	日	243	242	243	243	0.4%
	延 べ 人 数	人	26,915	28,917	29,000	29,503	2.0%
	1 日 平 均	人	110.8	119.5	119.3	121.4	1.6%
利 用 料 金（医 療 事 業 収 入）		円	185,394,661	203,300,231	203,616,000	234,503,497	15.3%
1 人 あ た り の 平 均 単 価		円	6,888	7,030	7,021	7,948	13.1%

投 薬	処 方 箋 に よ る 調 剤	院 内 枚	0	0	0	0	－
		院 外 枚	15,934	17,779	15,000	18,742	5.4%
合 計		処 方 枚 数 枚	15,934	17,779	15,000	18,742	5.4%

個別指導	言語聴覚療法		訓練実日数	日	243	242	243	243	0.4%
			延べ人数	人	4,335	3,549	4,560	4,092	15.3%
			1日平均	人	17.8	14.7	18.8	16.8	14.3%
	臨床心理		訓練実日数	日	243	242	243	243	0.4%
			延べ人数	人	4,496	5,386	4,320	5,470	1.6%
			1日平均	人	18.5	22.3	17.8	22.5	0.9%
集団指導	トレーニン グ等	集団形式	実施回数	回	0	0	40	0	－
			延べ人数	人	0	0	140	0	－
			1回平均	人	0.0	0.0	3.5	0.0	－
		個別形式	延べ人数	人	273	255	280	272	6.7%

イ ン テ ー ク 面 接		件	684	778	600	802	3.1%
---------------	--	---	-----	-----	-----	-----	------

令和5年3月末の初診待機患者は176人で、待機期間は3～4ヶ月となっている。

精神科の診療延べ人数は、常勤医師を3名から4名に増員したことと、言語聴覚療法の件数の増加等により、前年度比で2.0%増となった。

医療事業収入と1人あたりの平均単価が前年度より上がった主な要因は、診療報酬改定により児童思春期精神科専門管理加算が、初回受診日から2年を超えた患者に対しても算定可能になったことが大きな要因である。

年齢別では7歳から15歳が前年度同様全体の51%、6歳以下が全体の36%を占め、地域別では中区が最も多く全体の35%で、中区・西区・南区の合計で71%を占めた。

新患患者のうち88人に親治療を行い、親子並行治療にも積極的に取り組んだ。

疾患別では自閉症スペクトラム障害・注意欠陥多動障害が多く、全体の59%を占めた。

言語聴覚療法は新人職員の増員で前年度より15.3%増加した。

保護者の来院希望時間帯が夕方に集中したことで計画数値に比べて実数が伸び悩んだが、個々のケースに合わせた課題を作成し、カンファレンスを行うなどアセスメントの強化に力を入れた。

「ひまわりこころん」の特別支援は月4回に頻度を上げ、こころん全職員とSTの月1回のカンファレンスを継続した。

臨床心理の個別心理療法の件数は前年度より1.6%増加した。一方で、ペアレントトレーニングは前年度同様新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため集団形式は実施しなかったが、個別形式は前年度より6.7%増加した。

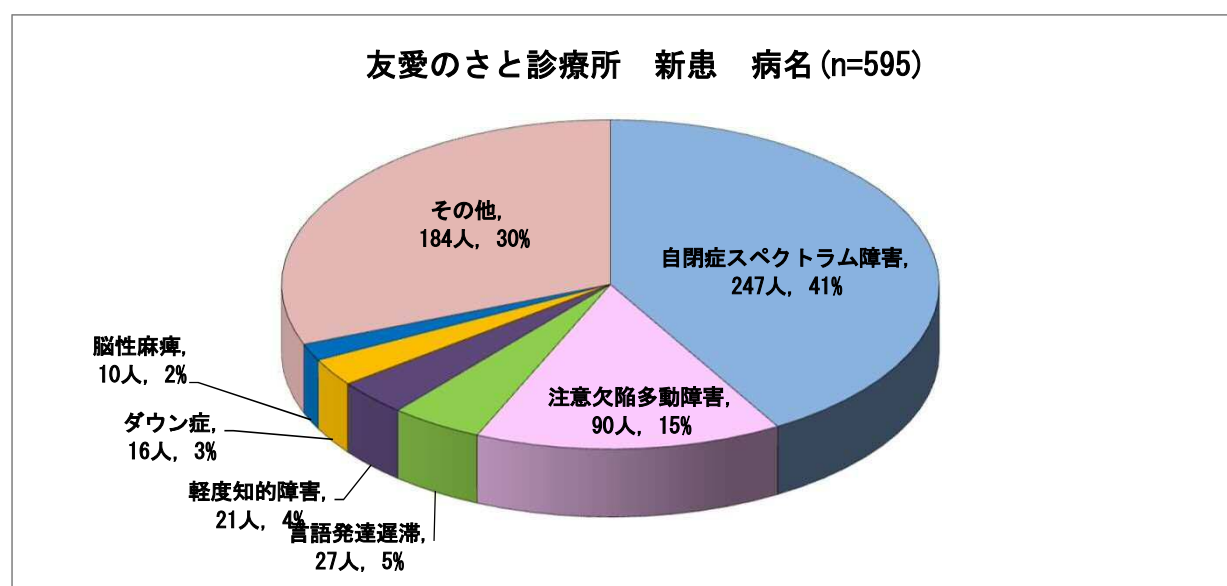
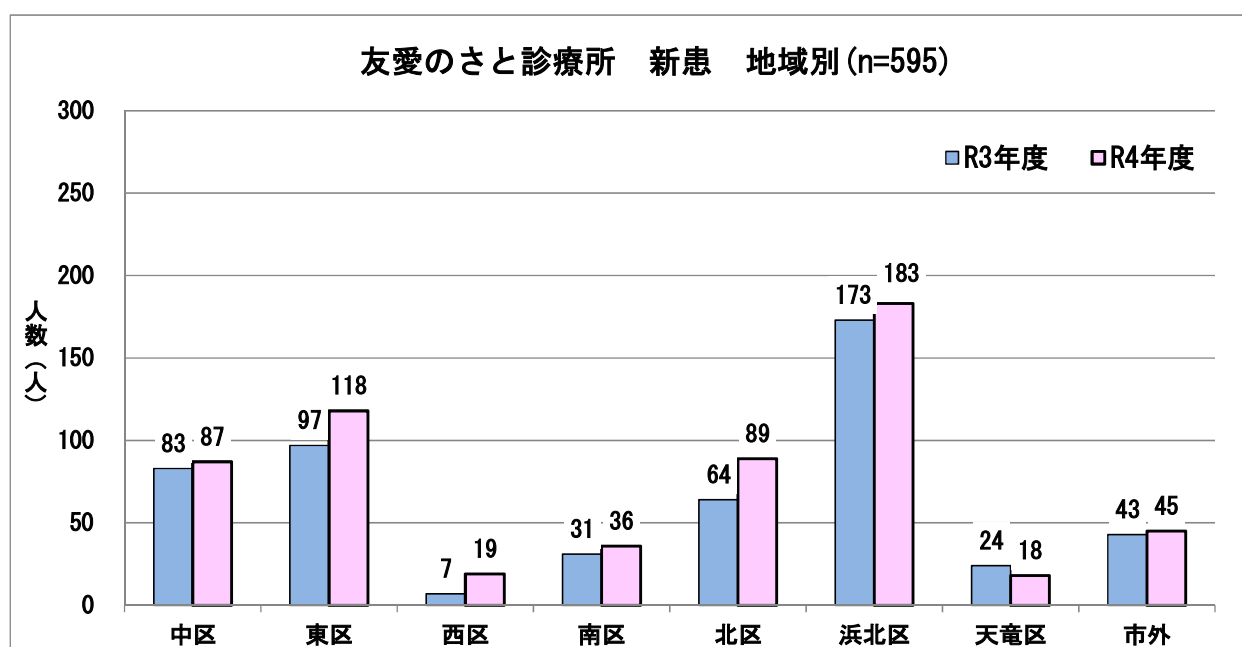
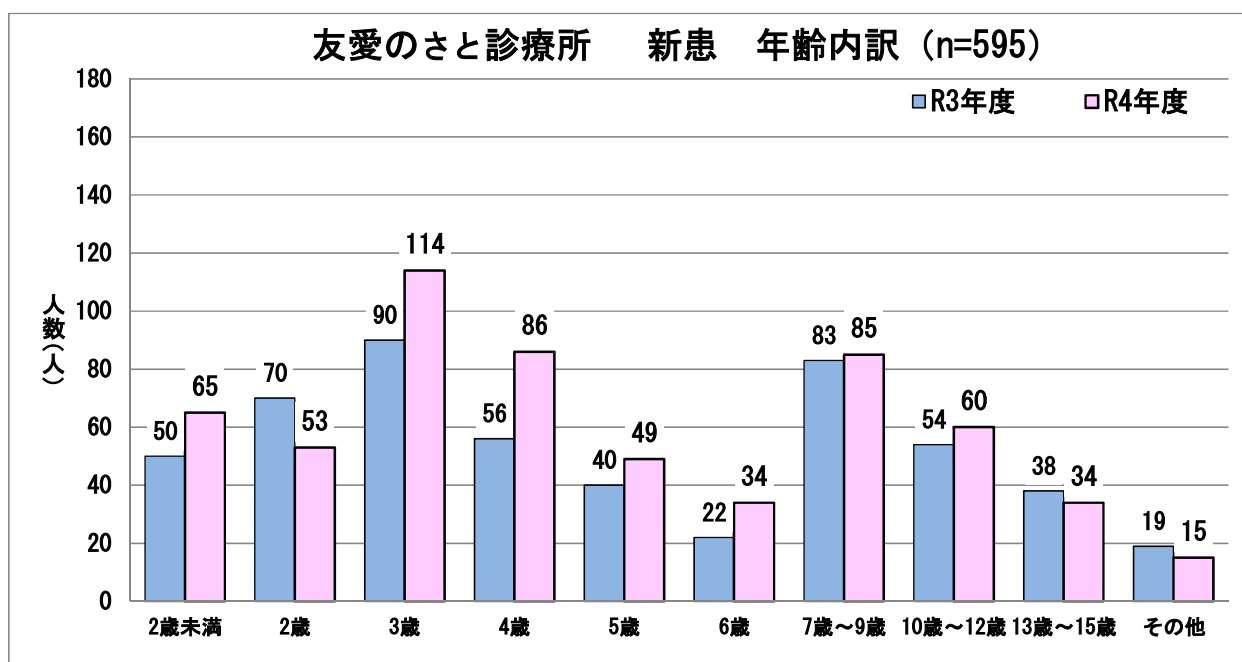
重篤で複雑なケースは昨年度同様の数で推移しており、一方で、ペアレントトレーニングのニーズも再び増えている可能性がある。

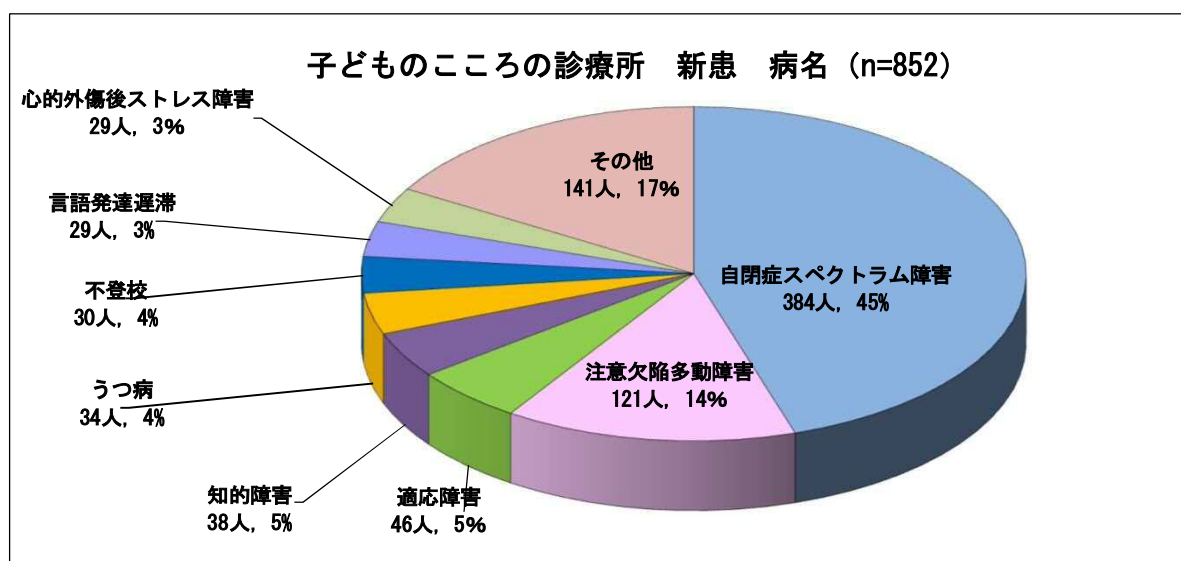
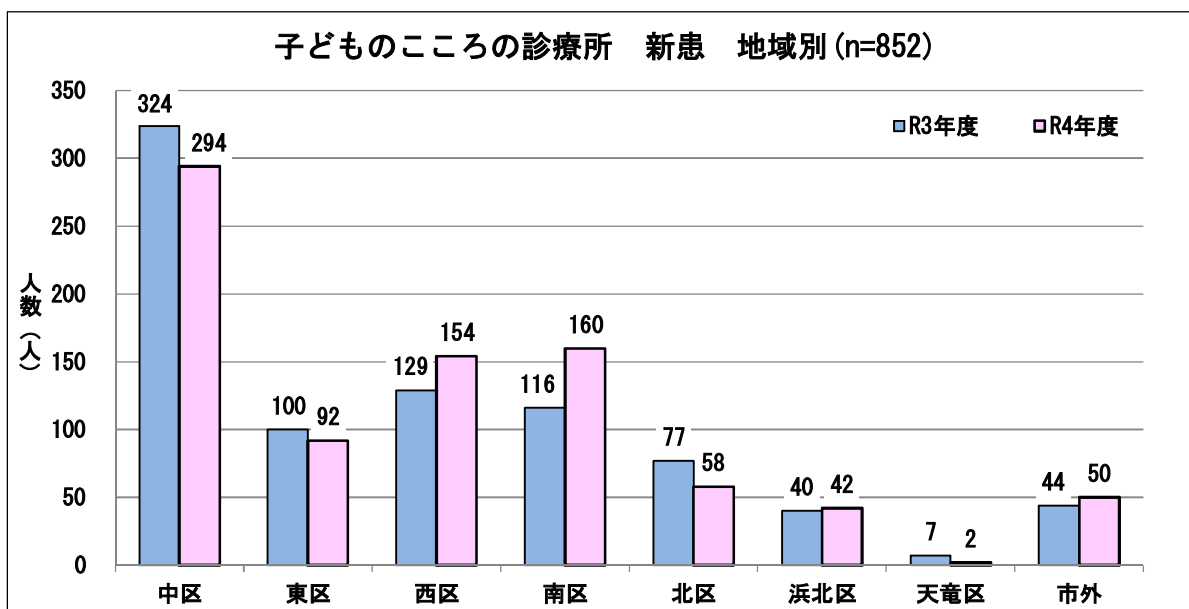
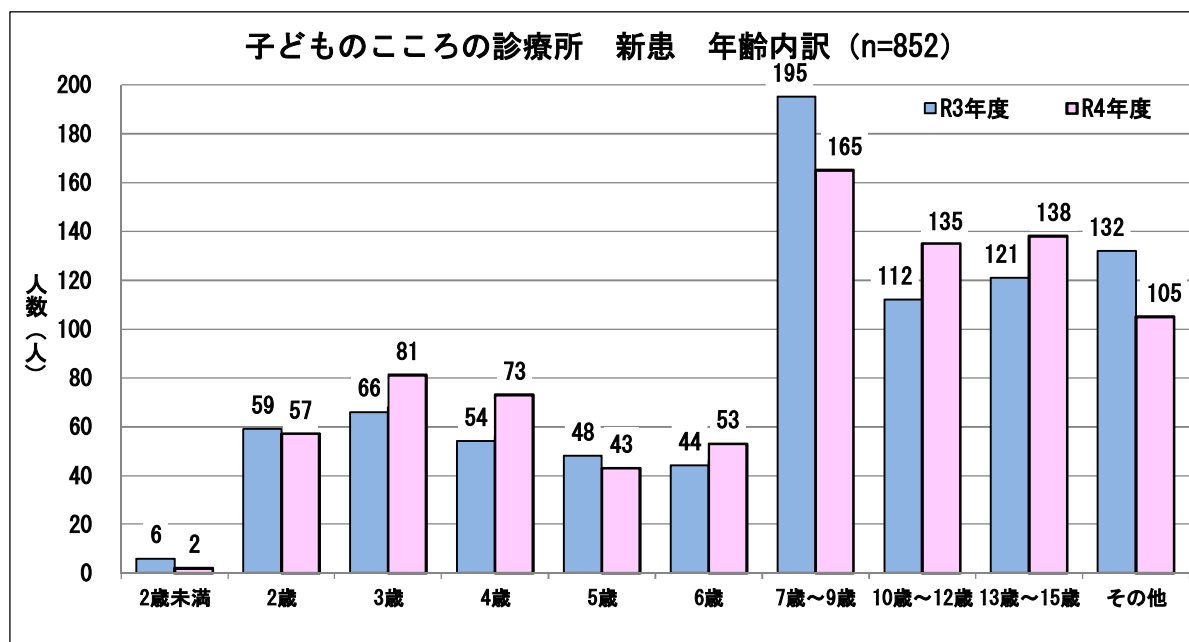
相談業務では、虐待や保護者の精神的な不調、DV被害、経済的困窮など多機関による支援を要するケースが増えている（いずれかの項目に該当するケースが初診段階で60.4%）。

関係機関連携やケース会議への出席等は前年度より16.9%減少した。

今年度は3名体制（前年度は4名）であり、一人当たりの対応件数は前年度より10.8%増加した。

新患の問い合わせは前年度より1.7%減少した（全1,074件）。





【 3 】 相談支援事業所シグナル

【根拠法令等：障害者総合支援法第5条第18号、第19号、第20号、児童福祉法第6条2の2第7号、浜松市障害者相談支援事業実施要綱、浜松市家庭訪問等個別支援事業実施要綱、浜松市医療的ケア児等支援事業実施要綱】

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
相 談 支 援 障 害 者	障 害 者 相 談 支 援 事 業	件	2,523	3,188	2,200	3,664	14.9%
	相 談 支 援 機 能 強 化 事 業	件	48	53	80	69	30.2%
	相 談 支 援 事 業 所 間 の 連 絡 調 整	件	44	62	50	114	83.9%
	計		2,615	3,303	2,330	3,847	16.5%
指定特定相談支援	サービス利用支援	件	100	139	120	102	△26.6%
	継続サービス利用支援	件	331	395	330	294	△25.6%
	連絡調整	件	1,748	2,130	1,240	1,885	△11.5%
指定障害児相談支援	サービス利用支援	件	1,176	1,401	1,160	1,030	△26.5%
	継続サービス利用支援	件	3,712	3,711	2,950	2,796	△24.7%
	連絡調整	件	13,805	12,818	10,850	9,582	△25.2%
計	サービス利用支援+ 継続サービス利用支援	件	5,319	5,646	4,560	4,222	△25.2%
	連絡調整	件	15,553	14,948	12,090	11,467	△23.3%
契 約 者 数 (計 画 相 談)		人	1,910	1,961	-	1,677	△14.5%
利 用 料 金		円	101,130,765	103,715,464	79,345,000	97,866,483	△5.6%
療 育 事 業	インテーク面接(友愛のさと診療所初診時間診) ※再掲	件	594	556	600	635	14.2%
	関 係 機 関 面 談	件	7	6	15	3	△50.0%
医 療 的 ネー ター 児 等 コ ー デ ィ ネー ター 業 務	相談業務 本人・家族等	件	-	81	-	146	80.2%
	相談業務 事業所・関係機関	件	-	172	-	263	52.9%
	名簿管理	件	-	64	-	16	△75.0%
	その他協議会等	回	-	47	-	37	△21.3%
	計	件・回	-	364	-	462	26.9%
自 主 事 業 「 啓 発 事 業 等 」		件	12	8	4	8	0.0%
浜 松 市 家 庭 訪 問 等 個 別 支 援 事 業		件	12	12	12	12	0.0%

- ・障害者相談支援は、計画値、前年度実績をともに上回った。診療所初診待機中に児童発達支援や放課後等デイサービス利用に関する相談対応が多いことによる。
- ・また、相談支援事業所間の連絡調整も計画値、前年度実績ともに上回っている。連絡会活動がコロナ禍の中で徐々に戻ってきたこと、要保護児童対策地域協議会実務者会議への参加が増えていることによる。
- ・計画相談支援は計画値、前年度実績をともに下回った。令和4年7月に計画相談の新規事業所を開設し、シグナルから相談員とともにそちらへ移行したケースがあることによる。そのために、シグナル全体の実績は減少した(表1)。契約者数も新規事業所へ移行したケースがあり減少している(表2)。
- ・令和3年度から受託している医療的ケア児等コーディネーター業務は、相談業務が前年度実績を上回った。コーディネーターが関係機関に周知されたことで新規相談が増加していることによる。
- ・その他、市・基幹相談支援センターとともに協議会や研修会を実施した。

表1

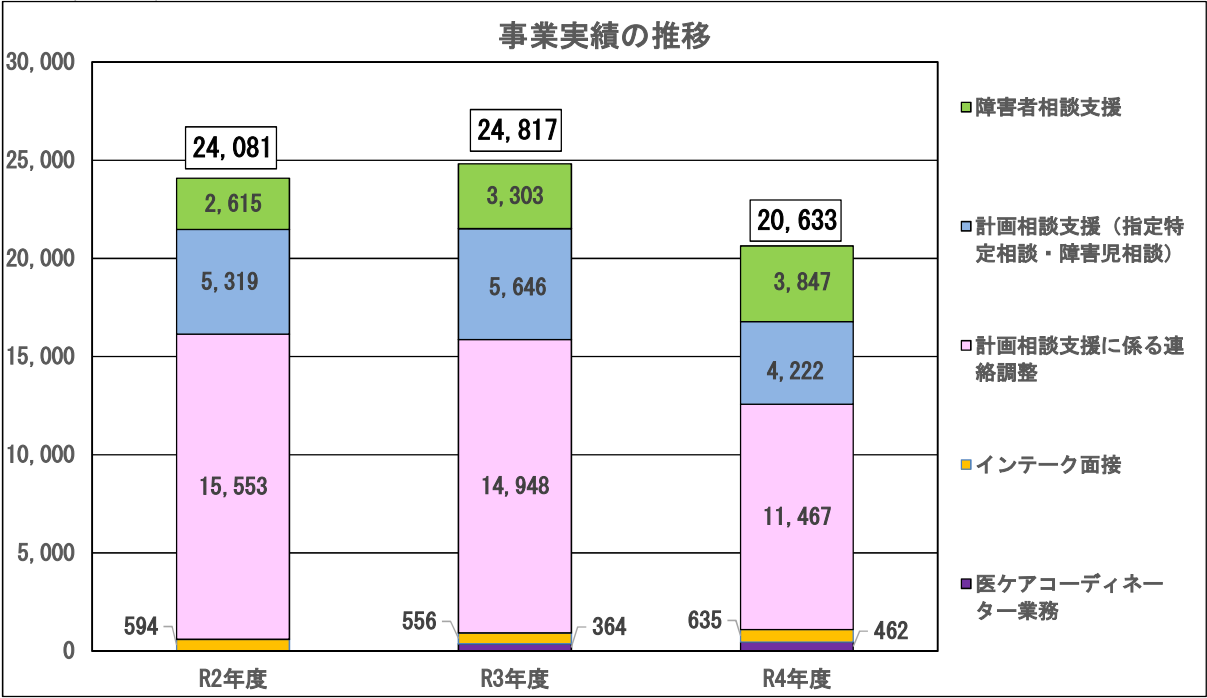
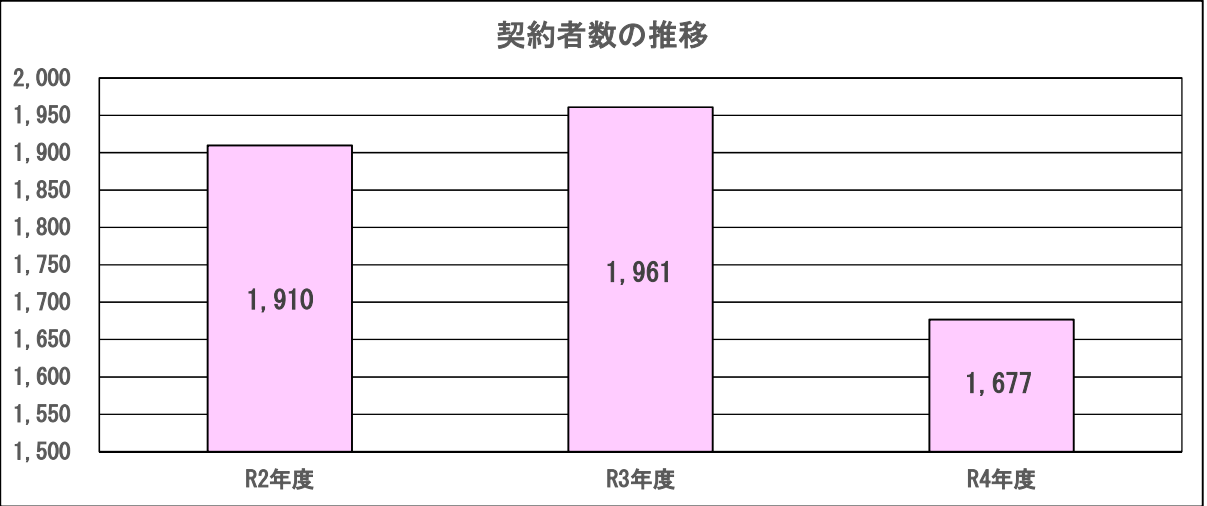


表2



《実施事業》

自主事業 きょうだい会



自主事業 ラッコちゃんグループ



【 3 】 相談支援事業所シグナルリバティ

【根拠法令等：児童福祉法第6条2の2第7号】

項	目	単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
指定特定相談支援	サービス利用支援	件	—	—	30	—	—
	継続サービス利用支援	件	—	—	90	—	—
	連絡調整	件	—	—	360	—	—
指定障害児相談支援	サービス利用支援	件	—	—	340	287	—
	継続サービス利用支援	件	—	—	860	435	—
	連絡調整	件	—	—	3,150	2,616	—
	ケース会議	件	—	—	—	13	—
計	サービス利用支援+ 継続サービス利用支援	件	—	—	1,320	722	—
	連絡調整・会議	件	—	—	3,150	2,629	—
契約者数（計画相談）		人	—	—	—	345	—
利用料金		円	—	—	19,300,000	12,557,108	—

- ・令和4年7月、中区幸一丁目に障害児相談支援事業所(計画相談)として開所した。
- ・当初は指定特定相談支援事業を実施する計画だったが、年々増加する障害児相談支援事業のニーズに応えるため、保育士等子どもに関する専門的知識を有する職員を配置し、指定障害児相談支援に専念することとした。
- ・どの相談支援事業所を利用するかは保護者が選択するため、シグナルからリバティへの移管を希望されなかったケースもあり、当初の契約者数は見込みを下回ったが、その分新規相談の申し込みを断ることなく受けることができ、また申込みから開始まで比較的短期間で対応できた。
- ・開所からの9か月間で、シグナルからの移管ではなく、リバティで新規相談の申し込みを受けサービス利用支援作成に至ったケースは97名であった。その内、居住地別(図1)では中区が48名で最も多く、東区、北区の順になった。リバティまで概ね片道30分以内のケースが大半を占めた。
- ・年齢別(図2)ではほとんどが就学前の乳幼児であり、就園前の療育希望である2歳児が最も多かった。

相談



图1 居住地別

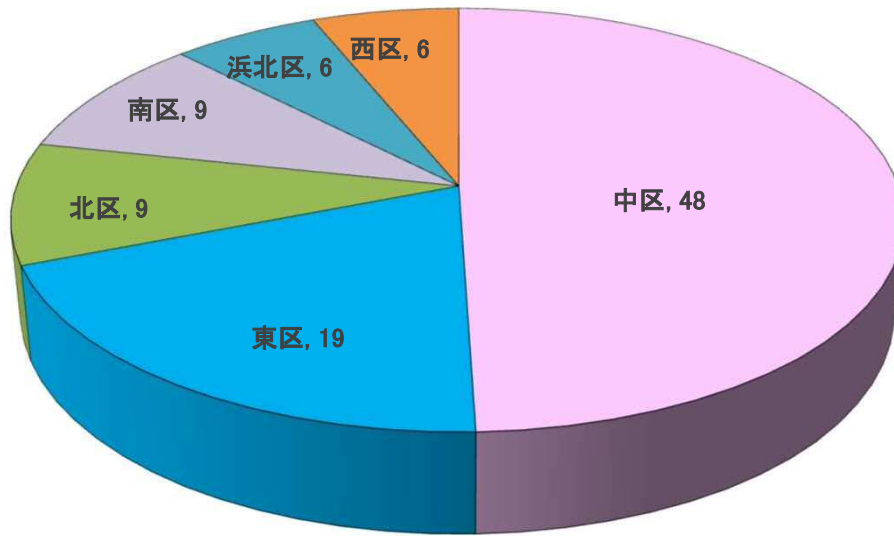
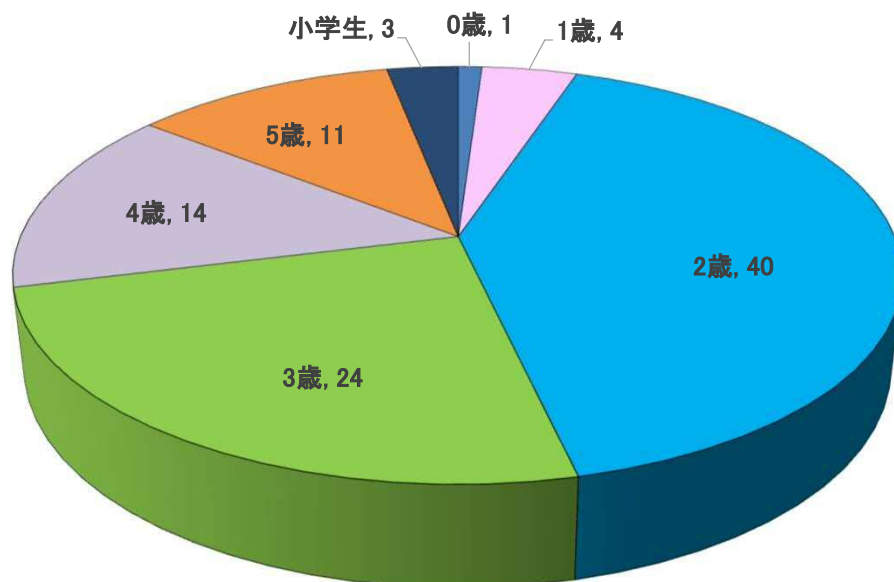


图2 年齢別



【 5 】発達相談支援センター「ルピロ」

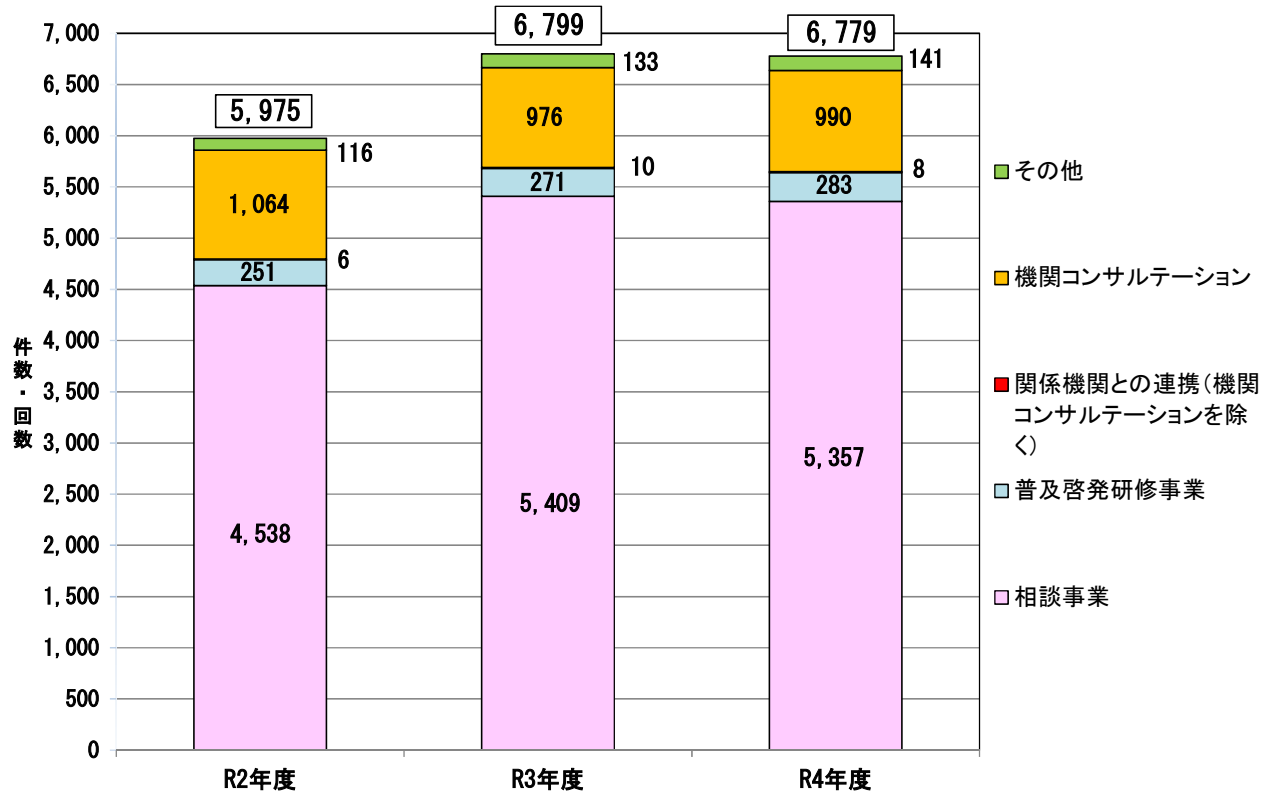
【根拠法令等：発達障害者支援法第14条、浜松市発達障害者支援センター事業実施要綱】

※NPO法人しずおか・子ども家庭プラットフォームとの浜松市発達障害者支援センター運営事業特定業務委託共同企業体にて事業受託

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率	
相談事業 (相談支援・発達支援・就労支援)		支 援 件 数	件	4,538	5,409	5,100	5,357	△1.0%
市民向け情報発信		実 施 回 数	件	2	1	2	1	0.0%
普及啓発 研修事業	研修講師派遣	実 施 回 数	回	11	9	15	21	133.3%
	発達障害児 保健師研修会	実 施 回 数	回	11	1	5	2	100.0%
	はままつの発達支援と療育を考える事例検討会	実 施 回 数	回	2	5	5	5	0.0%
	保育士、幼稚園教諭等への研修	実 施 回 数	回	23	21	27	18	△14.3%
	ペアレントプログラム	実 施 回 数	回	29	26	24	25	△3.8%
	発達支援の部屋の運営支援	実 施 回 数	回	6	6	6	6	0.0%
	発達支援広場への技術的支援	実 施 回 数	回	141	174	192	177	1.7%
	子育て支援ひろばへの支援	実 施 回 数	回	16	16	16	16	0.0%
	その他(支援者研修・外国人支援)	実 施 回 数	回	12	13	随時	13	0.0%
関係機関 等の連携	連絡協議会の開催	実 施 回 数	回	2	2	2	2	0.0%
	連絡協議会の参加(県内・全国等)	実 施 回 数	回	4	4	4	3	△25.0%
	機関コンサルテーション	実 施 回 数	回	1,064	976	800	990	1.4%
	連絡会等への参加	実 施 回 数	回	51	50	50	63	26.0%
	浜松市発達障害者支援 地域協議会の参加	実 施 回 数	回	—	4	2	3	△25.0%
個別支援のための調整会議		支 援 件 数	件	5	7	2	3	△57.1%
個別支援のための研修会		支 援 件 数	件	3	3	3	4	33.3%
その他(ポルトガル語情報発信 職員研修等)		実 施 回 数	回	55	72	随時	70	△2.8%
計		回数・件数		5,975	6,799	6,255	6,779	△0.3%

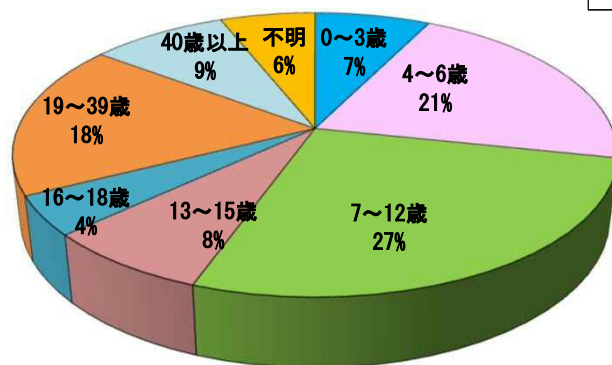
- ・相談事業の支援件数は5,357件で前年度並みとなった。
相談申込件数は6月・7月にピークを迎え、8月の新型コロナウイルス感染症の流行時期にはやや相談申込件数が減少する傾向もみられたが、12月の流行時期には減ることはなく、影響は限定的であった。
- ・普及啓発研修事業は、行政や学校が主催する研修講師依頼が増加したため、講師派遣が21回と増加した。保育士、幼稚園教諭等への研修は感染症対策が緩和され、1回の会場利用人数を増やすことができたため回数は減少したが、研修実施人数は維持している。また、新規事業として保育者向け研修中級を実施し65名が参加、アセスメントシートを通した情報交換を行うことで、他園との交流の場ともなり好評であった。
- ・関係機関等の連携では、機関コンサルテーションが990回とほぼ前年と同程度の回数となっている。内訳としては小学校が273件と一番多く、次いで幼稚園・保育園等となっており、この年代の相談ケースにおける他機関との連携ニーズが重要となっている。

事業実績の推移



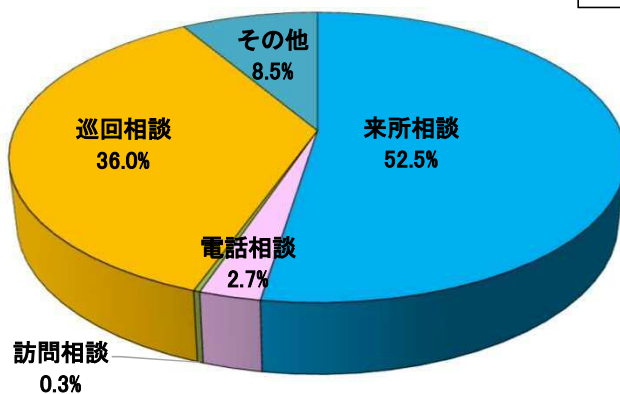
相談者の年齢層

延べ人数：1,353人



支援方法

延べ人数：5,357人



【 6 】 児童発達支援センター「ひまわり」

【根拠法令等：児童福祉法第6条2の2】

		定員	法定配置基準	所定配置基準	直接処遇職員	事業所管理者	児童発達支援 管理責任者	計
毎日 通園部	重症心身障がい児	10	4:1	3:1	7(6.4)	1	1	9(8.4)
	身体・知的・発達障がい児	55	4:1	4:1 (身体:3:1)	22(21.3)	兼務	1	23(22.3)
親子通園部		15			9(7.0)	兼務	1	10(8.0)
合計		80	—	—	38(34.7)	1	3	42(38.7)

※()は常勤換算数

※事務職員(2)、管理栄養士(1)、兼務心理士(1)を除く

※発達支援広場、保育所等訪問支援事業、保育所等巡回支援事業に従事する兼務職員含む。

※毎日通園部は、年齢、障がい程度、発達状況に応じて「きらきら」(知的障がい児・発達障がい児)6クラス、「ぽかぽか」(重症心身障がい児・身体障がい児)2クラスで編成した。

《全体》(定員80人)

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
施設利用状況 (毎日通園部+親子通園部)	定 員	人	80	80	80	80	0.0%
	開 所 日 数	日	234	233	232	232	△0.4%
	契 約 者 数	人	246	264	247	198	△25.0%
	延 べ 人 数	人	20,729	20,406	20,700	15,585	△23.6%
	1 日 平 均	人	88.6	87.6	89.2	67.2	△23.3%
	稼 働 率	%	110.7	109.5	111.5	84.0	△23.3%
保 育 所 等 訪 問 支 援	延 べ 人 数	人	403	428	340	497	16.1%
居 宅 訪 問 型 児 童 発 達 支 援	延 べ 人 数	人	63	39	110	68	74.4%
利用料金(自立支援費等収入)		円	237,020,469	274,758,931	274,548,000	212,505,918	△22.7%
1 人 あ た り の 平 均 単 価		円	11,183	13,163	12,981	13,158	△0.0%

《毎日通園部》重症心身障がい児(定員10人)

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	10	10	10	10	0.0%
	開 所 日 数	日	234	233	232	232	△0.4%
	契 約 者 数	人	18	16	17	10	△37.5%
	延 べ 人 数	人	2,616	2,357	2,300	1,765	△25.1%
	1 日 平 均	人	11.2	10.1	9.9	7.6	△24.8%
	稼 働 率	%	111.8	101.2	99.1	76.1	△24.8%

《毎日通園部》身体、知的、発達障がい児(重症心身障害児以外)(定員55人)

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	55	55	55	55	0.0%
	開 所 日 数	日	234	233	232	232	△0.4%
	契 約 者 数	人	70	71	70	55	△22.5%
	延 べ 人 数	人	14,257	13,241	14,100	10,100	△23.7%
	1 日 平 均	人	60.9	56.8	60.8	43.5	△23.4%
	稼 働 率	%	110.8	103.3	110.5	79.2	△23.4%

○ ぽかぽか(重症心身障がい児)

地域別	浜松市							磐田市	袋井市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区						
	2	3	2	0	0	3	0	0	0	0	0		
年齢別	～4歳	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)				性 別	男		女	10	
	1	2	1	6					6		4		
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持		手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級			
	9	1	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	

○ ぽかぽか(身体障がい児)

地域別	浜松市							磐田 市	袋井 市	掛川 市	湖西 市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区						
	0	5	0	2	0	1	0	0	0	0	0		
年齢別	～4歳	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)				性 別	男		女	8	
	0	4	0	4					5		3		
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持		手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級			
	1	1	2	0	0	4	1	0	0	0	3	2	

○ きらきら(知的、発達障がい児)

地域別	浜松市							磐田 市	袋井 市	掛川 市	湖西 市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区						
	9	13	0	2	0	21	2	0	0	0	0	47	
年齢別	～4歳	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)				性 別	男		女		
	0	14	19	14					37		10		
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級			
	0	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	33	

○ 医療的ケアの状況

医療的ケア	注入	吸引	導尿	呼吸器	酸素	その他	合計
	6	4	0	1	1	0	12

※利用児により医療的ケアの実施が重複している場合もある

○ 入園経路の状況

		発達支援 広場		外来 早期G	外来 早期G	ひまわり親子 ※			ひまわり親子・ひつじ・くじら ※					幼稚園		保育園		児発	認定 こども園	その他	合計
		セン ター 型	施設 型	もぐもぐ	パンダ	すくすく	こぐま	きりん	幼稚園 公立	幼稚園 私立	保育園 公立	保育園 私立	認定こども園	公立	私立	公立	私立				
ぽかぽか	重症心身障がい児	0	0	0	7	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10
	身体障がい児	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	8
きらきら		0	0	0	0	0	1	34	0	0	0	1	0	2	1	1	1	1	3	2	47
合計		0	0	0	7	0	9	34	0	0	0	1	2	2	1	1	1	2	4	3	65

※ひまわり親子通園部のグループは、「ひまわりひくまの丘」の利用児も含む

○ 卒・退園児の進路の状況

		一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行					就学			児発	ひまわり継続	その他	合 計
		幼稚園		保育園		認定こども園	特別支援学校	発達支援学級	通常学級				
		公立	私立	公立	私立								
ぽかぽか	重症心身障がい児	0	0	0	0	0	6	0	0	0	4	0	10
	身体障がい児	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	0	8
きらきら		2	4	1	0	0	7	5	0	0	26	2	47
合計		2	4	1	0	0	17	5	0	0	34	2	65

○ 毎日通園 保護者支援事業「ペアレントトレーニング」

項目	単位	延べ参加人数	対応職員数	職種
ペアレントトレーニング前期1コース6回(×2クラス)	人	43	24	公認心理師 保育士
ペアレントトレーニング後期1コース8回	人	64	16	公認心理師 保育士
ペアレントトレーニングぽかぽか1コース8回	人	32	16	公認心理師 保育士
ペアレントトレーニングアフターフォロー1コース2回	人	8	4	公認心理師 保育士
合計4コース(4グループ)24日実施	人	207	60	

内容:子どもへのほめ方、対応の仕方など親自身の子育て技術の向上をめざしての勉強会

《親子通園部》(定員15人)

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	15	15	15	15	0.0%
	開 所 日 数	日	234	233	232	232	△0.4%
	契 約 者 数	人	158	177	160	133	△24.9%
	実 施 回 数	回	665	646	600	600	△7.1%
	延 べ 人 数	人	3,856	4,808	4,300	3,720	△22.6%
	1 回 平 均	人	5.8	7.4	7.2	6.2	△16.2%
	1 日 平 均	人	16.5	20.6	18.5	16.0	△22.3%
	稼 働 率	%	109.9	137.6	123.6	106.9	△22.3%

地域別	浜松市							磐田市	湖西市	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				
	11	35	2	4	4	68	9			0	0
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	合計	性 別	男	女	合 計
	0	0	63	17	30	23	133		102	31	
手帳所持別	身体 手帳	療育 手帳	精神 手帳	重複 所持	手帳 なし						
	3	10	0	1	120						

グループ名	区 分	グループ構成
こぐま(1)	就園前の グループ	染色体疾患や運動発達の遅れがあり、年度内に3歳になる児のグループ
きりん(7)		発達に遅れや偏りを伴い、年度内に3歳になる児のグループ
ひつじ(6)	並行通園 グループ	幼稚園・保育園に就園中の児で、多動・自閉傾向・言葉の遅れがある児のグループ
くじら(2)		幼稚園・保育園に就園中の年中・年長児で、発達に偏りを伴う児のグループ

※()はグループ数

○ 進路の状況

	一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行						就学			児童 発達 支援	グルー プ 継続	その他 (海外 転居 等)	合計
	幼 稚 園		保 育 園		子 ども 園	認 可 外	特別支 援学校	発達支 援学級	通常 学級				
	公立	私立	公立	私立									
こぐま、きりん	11	28	0	2	5	1	0	0	0	14	0	0	61
ひつじ、くじら	8	7	3	15	13	0	0	4	20	0	0	2	72

《居宅訪問型児童発達支援事業》

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
居宅訪問型児童発達支援事業	実 人 数	人	3	2	3	5	150.0%
	延べ実施回数	回	63	39	110	68	74.4%
	延 べ 人 数	人	63	39	110	68	74.4%

○ 利用児の状況

地域別	浜松市							合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	
	1	0	1	2	0	0	1	5
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)		合計
	0	0	1	2		2		5
性 別	男	女	合 計					
	2	3	5					

○ 進路の状況

進路先	就学	児発	継続	その他	合計
利用児	2	0	2	1	5

《保育所等訪問支援事業》

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
保 育 所 等 訪 問	実 人 数	人	284	301	340	297	△1.3%
	延べ実施回数	回	403	428	340	497	16.1%
	延 べ 人 数	人	403	428	340	497	16.1%

○ 利用児の状況

地域別	浜松市							森町	磐田市	袋井市	掛川市	菊川市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区						
	24	69	7	12	20	154	11	0	0	0	0	0	297
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	小学生	中学生	高校生	合計			
	0	0	10	40	59	52	128	7	1	297			
性別	男	女	合 計										
	230	67	297										

○ 訪問支援先の状況

訪問先	幼稚園		保育園		認定 こども 園	小学校		中学校		特別支援学校			合計
	公立	私立	公立	私立		通常級	支援級	通常級	支援級	幼稚部	小学部	高等部	
併行通利用児	8	18	1	6	35	0	0	0	0	0	0	0	68
その他	34	21	1	12	24	62	63	2	4	1	3	2	229
計	42	39	2	18	59	62	63	2	4	1	3	2	297

《自主事業》

項目	事業内容	開催数	参加者数
地域支援 ・まとも食・ミキサー食 勉強会	給食で提供しているまとも食の試食、まとも食の作り方(簡易・通常・豆乳ムースの素)とまとも飯スベラカーゼの効果と入れないときの変化について試食を含めて行った。(保護者対象)	1	2

《児童発達支援事業》

- ・毎日通園部では、新型コロナウイルス感染症予防に日々努めてきたが、感染拡大時には児の感染や感染予防のための利用自粛が重なり、Webによる支援を実施することがあった。内容は、家庭での親子あそびの一助になるよう、ひまわりで日頃行っている活動を基にプログラムを作成した。
- ・毎日通園する中で、利用児の身辺自立と集団生活への適応状況により、保護者の意向を確認の上、地域の一般園への移行を図った。
- ・親子通園部では、新型コロナウイルス感染症の拡大以降中止していたおやつの提供を再開した。偏食指導や、食事・おやつの提供の仕方等、食に対する悩みを共有し、具体的な方法を提案する支援を行った。新型コロナウイルス感染症の影響でグループへの参加を躊躇する保護者もいたが、安全衛生に注意を払って保育を行った。
- ・毎日通園部・親子通園部ともに、家庭との連携として、利用児が「ひまわり」の中でできていることと家庭で行えていることを共通理解する機会をもち、家庭での困っていることの相談を受けて具体的な方法を提案する支援を行った。

《居宅訪問型児童発達支援》

- ・実人数は前年度より増えたが、新型コロナウイルス感染症の予防や入院等の理由により、利用者1人には月1～2回の実施となった。
- ・職員が家庭を訪問して支援を行うことで、家庭だけでは経験することが難しい保育活動や、家族以外の人と関わる機会を作った。

《保育所等訪問支援事業》

- ・一般園の小集団による保育所等訪問により、地域での支援体制の確立につながりつつある。また、並行通園在籍児の訪問依頼が増え、園とグループで目標の共有化が図られた。
- ・小学校在籍児からの訪問依頼が増え、学習面・生活面で施設と繋がる支援が必要だった。

《活動の様子》

きらきら 運動会



きらきら 友だちとさかなつり



ぽかぽか ポッチャ体験



卒園式



【 7 】浜松市委託事業（浜松市保育所等巡回支援事業、浜松市発達支援広場事業）

《浜松市保育所等巡回支援事業》

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
保 育 所 等 巡 回	延 べ 回 数	回	435	299	300	333	11.4%

訪問先	幼 稚 園		保 育 園		認定こ ども園	認証 保育所	小規模 保育事業	事業所内 保育事業	企業主 導型保 育事業	認可外 保育施設	放課後 児童会	合 計
	公 立	私 立	公 立	私 立								
実施延べ回数	75	24	29	47	78	10	25	2	17	22	4	333

※R2年度は実施延べ回数の内159件が挨拶まわり※R3年度は実施延べ回数の内29件が挨拶まわり※R4年度は実施延べ回数の内66件が挨拶まわり。

- ・新型コロナウイルスやインフルエンザ、水害等による前日及び当日キャンセルが20件あった。その際、待機園を減らすため当日であっても既に依頼がある別の園に連絡をし、許可が得られた園を急遽訪問した。
- ・感染症対策で、年度初めの事業説明や担当変更の連絡は電話で行った。

《浜松市発達支援広場事業(たんぽぽ広場)》

項 目			単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
中 央 保 健 福 祉 社	発 達 支 援 広 場 (セ ン タ ー 型)	開 催 回 数	回	40	40	40	40	0.0%
		参 加 組 数	組	57	53	20	44	△17.0%
		延べ参加組数	組	305	409	800	411	0.5%
		延 べ 人 数	人	628	856	1,600	851	△0.6%
		1 回 平 均	組	7.6	10.2	20	10.3	1.0%
	医 師 相 談	実 施 人 数	人	18	20	－	21	5.0%
	心 理 相 談	実 施 人 数	人	22	19	－	19	0.0%
セ 浜 北 保 健 一 社	発 達 支 援 広 場 (セ ン タ ー 型)	開 催 回 数	回	40	40	40	40	0.0%
		参 加 組 数	組	52	65	20	49	△24.6%
		延べ参加組数	組	281	435	800	401	△7.8%
		延 べ 人 数	人	566	904	1,600	824	△8.8%
		1 回 平 均	組	7	10.9	20	10.0	△8.3%
	医 師 相 談	実 施 人 数	人	18	23	－	20	△13.0%
	心 理 相 談	実 施 人 数	人	22	24	－	19	△20.8%
友 愛 の さ と	発 達 支 援 広 場 (施 設 型)	開 催 回 数	回	78	85	80	85	0.0%
		参 加 組 数	組	48	46	45	47	2.2%
		延べ参加組数	組	679	774	800	671	△13.3%
		1 回 平 均	組	8.7	9.1	10.0	7.9	△13.2%

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、1グループあたりの人数を制限して実施した。そのため平均参加人数は令和2年度に比べると安定した参加が得られた。参加者も感染を心配しての自粛は少なくなった。
- ・妊娠・出産に伴う理由により参加が困難になる事例が多かった。

【 8 】 児童発達支援事業所「ひまわりひくまの丘」

【根拠法令等：児童福祉法第6条2の2】

	定員	法定配置基準	所定配置基準	直接処遇職員	児童発達支援 管理責任者	管理者	計
親子通園	10	5:1	5:1	4	1		5(5.0)

※()は常勤換算数

※保育所等訪問支援事業、保育所等巡回支援事業に従事する兼務職員含む。

《親子通園》(定員10名)

項	目	単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	10	10	10	10	0.0%
	開 所 日 数	日	233	236	235	236	0.0%
	契 約 者 数	人	110	102	90	86	△15.7%
	実 施 回 数	回	428	423	420	414	△2.1%
	延 べ 人 数	人	2,468	2,589	2,550	1,995	△22.9%
	1 日 平 均	人	10.6	11.0	10.9	8.5	△22.9%
	稼 働 率	%	105.9	109.7	108.5	84.5	△23.0%
保 育 所 等 訪 問 支 援	延 べ 人 数	人	74	74	95	73	△1.4%
利用料金(自立支援費等収入)		円	30,074,307	34,903,818	34,510,000	28,426,793	△18.6%
1 人 あ た り の 平 均 単 価		円	11,831	13,107	13,047	13,746	4.9%

○ 親子通園(児童発達支援)の状況

地域別	浜松市							合計			
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				
	45	23	2	8	4	3	1	86			
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	合計	性 別	男	女	合計
	0	3	28	26	20	9	86		65	21	86
手帳所持別	身体 手帳	療育 手帳	精神 手帳	重複 所持	手帳 なし	合計					
	0	3	0	0	83	86					

グループ名	区 分	グループ構成
きりん(4)	就園前のグループ	発達に遅れや偏りを伴い、年度内に3歳になる児のグループ
ひつじ(5)	並行通園グループ	幼稚園・保育園に就園中の児で、多動・自閉傾向・言葉の遅れがある児のグループ
キラピーノ(2)	並行通園グループ	前年度グループを終了した児のフォローアップ・保護者同士の情報交換の場

※グループ名横の()はグループ数

○ 進路の状況

	一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行					就学			児発	グループ継続	その他 (海外転居等)	合計
	幼稚園		保育園		認定 こども園	特別 支援学校	発達 支援学級	通常 学級				
	公立	私立	公立	私立								
親子通園部 (きりん)	1	11	0	1	6	0	0	0	5	4	3	31
	一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行					就学			児発	グループ継続	その他 (海外転居等)	合計
	幼稚園		保育園		認定 こども園	特別 支援学校	発達 支援学級	通常 学級				
	公立	私立	公立	私立								
親子通園部 (ひつじ)	0	14	2	4	5	0	1	8	0	7	2	43
親子通園部 (キラピーノ)	0	10	0	2	0	0	0	0	0	0	0	12

《保育所等訪問支援事業》

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
保 育 所 等 訪 問	実 人 数	人	74	71	95	70	△1.4%
	延べ実施回数	回	74	74	95	73	△1.4%
	延 べ 人 数	人	74	74	95	73	△1.4%

○ 利用児の状況

地域別	浜松市							森町	磐田市	袋井市	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	35	22	0	7	5	1	0					
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	7歳以上	性 別	男	女	合計	
	0	0	5	20	27	12	6		53	17	70	
手帳所持別	身体 手帳	療育 手帳	精神 手帳	重複 所持	手帳 なし							
	0	3	0	0	67							

○ 訪問支援先の状況

訪問先	幼 稚 園		保 育 園		認定 こども園	小学校	中学校	特別支 援学校	合計
	公 立	私 立	公 立	私 立					
親子通園部利用児	1	22	3	8	11	0	0	0	45
そ の 他	0	12	0	2	5	6	0	0	25
計	1	34	3	10	16	6	0	0	70

《親子通園》

- ・年度途中に転居や出産等で契約が終了となるケースがあった。
- ・新型コロナウイルス感染症については、第8波の時期には感染が拡大して利用児、保護者ともに感染する者が多く、出席率が低い月もあった。また、インフルエンザの感染者も発生した。
- ・新型コロナウイルス感染症感染予防のため、おやつを提供を控えていたが、就園前のグループでは感染が収まってきた夏頃から、月に一度弁当を持参してもらい、偏食指導や食具の使い方の支援を行った。就園後の並行通園グループでは市販の物ではあったがおやつを提供し、偏食指導を行うことで改善傾向が見られるケースもあった。

《保育所等訪問支援》

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、訪問先の学級閉鎖や休園により訪問の延期や見合わせが相次ぎ、件数は計画に届かなかった。しかし保護者の了解のもと、園と協力して先生との電話や手紙のやり取りによる支援を行った。

《活動の様子》

きりん 散歩



ひつじ パラバルーン



【 9 】児童発達支援事業所「ひまわり こころん」

【根拠法令等： 児童福祉法第6条の2の2 】

	定員	法定配置基準	所定配置基準	直接処遇職員	児童発達支援 管理責任者	管理者	計
毎日通園	10	5:1	5:1	3	1		4(4.0)

※()は常勤換算数

《毎日通園》(定員10名)

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	10	10	10	10	0.0%
	開 所 日 数	日	234	232	230	222	△4.3%
	契 約 者 数	人	11	12	10	12	0.0%
	延 べ 人 数	人	2,176	2,004	2,200	1,878	△6.3%
	1 日 平 均	人	9.3	8.6	9.6	8.5	△2.1%
	稼 働 率	%	93.0	86.4	95.7	84.6	△2.1%
保 育 所 等 訪 問 支 援	延 べ 人 数	人	6	0	10	2	-
利用料金(自立支援費等収入)		円	25,164,731	26,092,279	28,503,000	25,655,260	△1.7%
1 人 あ た り の 平 均 単 価		円	11,533	13,020	12,897	13,646	4.8%

○ 毎日通園(児童発達支援)の状況

地域別	浜松市							合計				
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	7	1	4	0	0	0	0	12				
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	合計	性 別	男	女	合計	
	0	1	4	4	3	0	12		10	2	12	
手帳所持別	身体 手帳	療育 手帳	精神 手帳	重複 所持	手帳 なし	合計						
	0	3	0	0	9	12						

○ 入園経路の状況

発達支援広場		ひまわり 親子	ひまわり 親子	ひまわり親子 ひつじ		ひまわり親子 ひつじ		ひくまの 丘	ひくまの丘 ひつじ		幼稚園		保育園		児発		診療所	合計
センター型	施設型	すくすく	きりん	幼稚園 公立	幼稚園 私立	保育園 公立	保育園 私立	きりん	幼稚園	保育園	公立	私立	公立	私立	親子通	単独		
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3	0	0	6	12

○ 進路の状況

一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行					就学			児発	こころん 継続	その他 (海外転居 等)	合計
幼稚園		保育園		認定 こども園	特別支 援学校	発達支 援学級	通常 学級				
公立	私立	公立	私立								
0	3	0	0	0	0	0	0	0	9	0	12

《保育所等訪問支援事業》

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
保 育 所 等 訪 問	実 人 数	人	3	0	11	2	-
	延べ実施回数	回	6	0	10	2	-
	延 べ 人 数	人	6	0	10	2	-

○ 利用児の状況

地域別	浜松市							森町	磐田市	袋井市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				
	2	0	0	0	0	0	0				
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	7歳以上	性 別	男	女	合計
	0	0	0	1	0	1	0		2	0	2
手帳所持別	身体手帳	療育手帳	精神手帳	重複所持	手帳なし						
	0	0	0	0	2						

○ 訪問支援先の状況

幼 稚 園		保 育 園		認定 こども園	小学校	中学校	特別支援 学校	合計
公 立	私 立	公 立	私 立					
0	2	0	0	0	0	0	0	2

- ・基本的な生活習慣の獲得、小集団による集団生活の社会的スキルの向上を狙い、環境の構造化や視覚支援などを取り入れ、わかりやすい環境の中で自分でできることを増やしていく取り組みを行った。
- ・「子どものこころの診療所」と連携して定期的なカンファレンスを行いながら集団療育を行うことで、子どものアセスメントをより正確に行うことができ、スキルの獲得や問題行動の緩和を図ることができた。
- また、言語聴覚士による個別訓練の目標と集団療育の目標のすり合わせをきめ細かく行うことで療育効果を上げながら、家庭支援でも連携することで効果が見られた。
- ・職員・利用者のコロナ感染拡大のため、6月～7月の数日間休園措置を行ったり、発熱での欠席も多かったため、延べ人数が1,878名と計画値より減少した。
- ・感染予防として遊具・おもちゃ・廊下等の消毒や、保育参加の行事等は取りやめた。
- ・家庭支援では、今年度は保育公開を小集団に分けて行なったり、個別の家庭支援の強化をすることで保護者の困りごとや子育ての不安等への対応に努めた。

《活動の様子》

運動会



ごっこ遊び(おおきなかぶ)



【 10 】 生活介護・就労継続支援施設「かがやき」

【根拠法令等：障害者総合支援法第5条第7項・14項】

	定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	管理者	サービス管理責任者	計
生活介護（パステル）	40	5:1	5:1	12(11.8)	1	2(1.5)	15(14.3)
就労継続支援B型（グリーン）	10	7.5:1	6:1	2(2.25)	生活介護と兼務	生活介護と兼務	2(2.25)
合計	50	—	—	14(14.05)	1	2(1.5)	17(16.55)

※（ ）は常勤換算

《生活介護（パステル）》（定員40名）

項目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
施設利用状況	開 所 日 数	日	242	241	243	242	0.4%
	契 約 者 数	人	50	52	52	50	△3.8%
	延 べ 人 数	人	10,974	10,885	11,300	10,381	△4.6%
	1 日 平 均	人	45.3	45.2	46.5	42.9	△5.1%
	稼 働 率	%	113.4	112.9	116.3	107.3	△5.0%
利用料金(自立支援費等収入)		円	113,375,982	114,667,957	118,650,000	108,273,115	△5.6%
1人あたりの平均単価		円	10,331	10,534	10,500	10,430	△1.0%

○ 入退所の状況

区分	人数	入所前・退所後の状況
入所者	1	4月男性1名（特別支援学校卒業生）
退所者	2	6月男性1名（他施設移行）9月男性1名（他施設入所）
増減	△1	

○ 利用者の状況

地 域 別	浜松市							磐田市			合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	18	9	2	2	6	11	0					
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性 別	男	女	50	
	1	19	6	15	8	0	1		32	18		
障 害 支 援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援 区分					
	16	17	16	1	0	0	4.96					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳				重複 所持
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	4	2	1	1	0	49	1	1	0	0	9	0

《就労継続支援B型（グリーン）》（定員10名）

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
施 設 利 用 状 況	開 所 日 数	日	242	241	243	242	0.4%
	契 約 者 数	人	10	9	10	10	11.1%
	延 べ 人 数	人	1,876	2,019	2,300	2,229	10.4%
	1 日 平 均	人	7.8	8.4	9.5	9.2	9.5%
	稼 働 率	%	77.5	83.8	94.7	92.1	9.9%
利用料金（自立支援費等収入）		円	13,487,299	14,437,581	16,560,000	16,282,399	12.8%
1 人 あ た り の 平 均 単 価		円	7,189	7,151	7,200	7,305	2.2%

○ 入退所の状況

区分	人数	入所前・退所後の状況
入所者	1	4月男性1名（特別支援学校卒業生）
退所者	0	
増減	1	

○「就労継続(グリーン)」利用者の状況

地 域 別	浜松市										合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	3	4	2	0	0	1	0				10	
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性 別	男	女		
	1	0	1	7	1	0	0		4	6		
障 害 支 援	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区 分 未判定					
区 分 別	0	1	1	4	1	0	3					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	4	6	0	0	0	0	0

- ・10月頃に新型コロナウイルス感染症がかがやき内で流行し、多くの利用者、職員が感染した。感染の不安から自粛する利用者もあり、一日平均利用者数は前年度に比べ少なく、生活介護・就労継続ともに実績は計画を下回った。
 - ・「わごむ」ブランドの新商品として、革製品のまん丸シリーズ(キーホルダー、マグネット)等を開発したり、新デザインのエコバッグを販売した。
30周年記念イベントや県庁販売会等も開催され、販売の機会が増えて売り上げは倍増した。
 - ・友愛のさと作品展では、30周年の「30」にちなんだ作品を各グループで製作し、展示した。
- 《生活介護》
- ・特別支援学校を卒業した男性1名が4月から利用を開始し、52名の契約でスタートしたが、6月に男性1名が他施設利用に移行、11月に男性1名が他施設入所となり退所した。
 - ・新型コロナウイルス感染症の予防のため例年通りの社会体験活動が難しく、前年同様、少人数での外出体験や外食体験、ドライブに切り替えた。
 - ・強度行動障害支援は、新たに1名を加え6名に行った。支援計画シートの見直しなど担当者会議を進め、安心して落ち着いて過ごせるような支援を継続した。
- 《就労継続》
- ・特別支援学校を卒業した男性1名が4月から利用を開始し、契約者数は10名となった。新型コロナウイルス感染症の不安から利用を自粛する利用者もいたが、一日平均利用者数は昨年度より増加した。
 - ・作業は新型コロナウイルス感染症の影響が少ない清掃作業を中心に、バイクの部品や通信販売のチラシ折りなどの下請け作業に取り組んだ。利用者が描くエコバッグの新デザインも評判がよく売り上げを伸ばした。少ない販売会の機会に加え、発達医療総合福祉センター内に販売コーナーを設け、来館者に手にしてもらおう工夫をした。
 - ・平均工賃は昨年度に続き1人当たり1万円以上を支給することが出来た。

《活動の様子》

県庁販売会



まん丸シリーズ



外出体験



【 11 】 就労継続支援施設「はばたき」

【根拠法令等:障害者総合支援法第5条第14項】

定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	管理者	サービス管理責任者	計
20	7.5:1	6:1	5(4.4)	1(兼務0.5)	1	7(5.9)

※()は常勤換算

項 目	単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
施設利用状況	開所日数	日	241	241	243	0.4%
	契約者数	人	30	32	32	△6.2%
	延べ人数	人	4,601	4,756	5,400	0.9%
	1日平均	人	19.1	19.7	22.2	1.0%
	稼働率	%	95.5	98.7	111.1	0.5%
利用料金(自立支援費等収入)	円	38,846,868	40,876,402	46,440,000	41,505,755	1.5%
1人あたりの平均単価	円	8,443	8,595	8,600	8,649	0.6%

○ 入退所の状況

区分	人数	入所前・退所後の状況
入所者	0	
退所者	2	在宅生活1名、他施設へ移行1名
増減	△2	

○ 利用者の状況

地 域 別	浜松市										合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	4	14	1	4	0	7	0				30	
年 齢 別	16歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性 別	男	女		
	0	8	2	10	6	1	4		18	12		
障 害 支 援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区 分 未判定					
	2	0	3	7	2	0	16					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	10	9	0	1	1	2	8	0	2	0		

- ・4月に1名が在宅生活するため、9月に1名が他の就労支援事業所へ移行するために退所し、契約者は30人となった。
- ・6月までは新型コロナウイルス感染症の影響はなく利用は安定していたが、7月以降、体調不良による長期欠席や、入居しているグループホームでの感染拡大ため長期欠席した利用者がおり、1日の平均利用人数は前年度は上回ったものの定員には届かなかった。
- ・令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症により就労支援事業は大きく影響を受け、主力製品である軒花は売上が例年の10分の1程度に激減したが、今年度は例年の3分の1程度まで回復した。
- ・仕入販売として「はばたき市場」を毎週金曜日に開催し、前年度に新たな仕入れ先として開拓した老舗菓子屋「菓匠ふる里」の商品を安価で仕入れ、特別に「アウトレット商品」として値引き販売した。また近隣の店舗から野菜を仕入れ、100円均一で販売することにより目玉商品となった。
- ・法人の30周年記念事業では、陶芸製品をイベント会場やクラウドファンディングの返礼品として販売した。
- ・軒花製作に代わる作業として、地域の企業から木製品の袋詰め作業を受託して取り組んだ。軒花販売の回復もあり、作業収入は前年度比124.6%となった。

《活動の様子》

はばたき市場



30周年記念事業イベント販売(ソラモ)



受託作業(木製品袋詰め)



【 12 】 障害者生活介護施設「ふれんず」

【根拠法令等:障害者総合支援法第5条第7項】

定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	管理者	サービス管理責任者	計
20	3:1	1.7:1	17(13.0)	1(0.5)	1(1.0)	19(14.5)

※()は常勤換算

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
施 設 利 用 状 況	開 所 日 数	日	242	240	243	242	0.8%
	契 約 者 数	人	29	31	36	34	9.7%
	延 べ 人 数	人	4,972	4,401	5,150	4,488	2.0%
	1 日 平 均	人	20.5	18.3	21.2	18.5	1.1%
	稼 働 率	%	102.7	91.7	106.0	92.7	1.1%
利用料金（自立支援費等収入）		円	87,101,623	80,576,982	94,245,000	79,254,243	△1.6%
1 人 あ た り の 平 均 単 価		円	17,518	18,309	18,300	17,659	△3.6%

○ 入退所の状況

区分	人数	入所前・退所後の状況
入 所 者	5	特別支援学校卒業5名
退 所 者	2	死去2名
増 減	3	

○ 利用者の状況

地 域 別	浜松市										合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
年 齢 別	6	10	1	9	2	4	2	性 別	男	女	34	
	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上					
	4	7	12	9	1	1	0					
障 害 支 援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分					
	29	5	0	0	0	0	5.9					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	30	4	0	0	0	27	0	0	0	0	27	0

- ・特別支援学校高等部の卒業生5名を利用者として受け入れ、年度当初の契約者数は計画通りの36名となったが、12月に1名、3月に1名の利用者が死去し、契約者数は34名となった。
また医療的ケアの必要な利用者は17名となった。
- ・利用者や職員が新型コロナウイルス感染症に感染したことにより、欠席や利用を自粛する利用者が多数あり、延べ人数、1日平均利用人数は計画値を大きく下回った。
- ・前年度同様に外出体験は自粛し、タブレットを利用して好きな映像や歌フェスタなどの活動を行った。目で見える映像や歌等、楽器の生演奏により、利用者の表情が穏やかになり笑顔が多くなった。また密を避けるため、小グループによるミニ運動会、ハロウィン、クリスマスパーティー等、季節感のある活動を実施した。
- ・医療的ケアの必要な方が利用できる事業所が広がるよう、浜松市や自立支援協議会が主催する検討会や研修会に職員が出席した。

《活動の様子》

ミニ運動会



ハロウィン



クリスマスパーティー



【 13 】 地域活動支援センター「オルゴール」

【根拠法令等：障害者総合支援法第5条第27項、浜松市地域活動支援センターⅡ型事業実施要綱】

定員	所定配置基準	直接処遇職員	事業所管理者	計
15	要綱による	3(3)	0.5(兼務)	3.5(3.5)

※()は常勤換算

項 目	単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
施設利用状況	実施日数	日	242	241	243	0.4%
	契約者数	人	50	49	49	△14.3%
	延べ人数	人	2,764	2,946	3,100	△9.5%
	1日平均	人	11.4	12.2	12.8	△9.8%
	稼働率	%	76.1	81.5	85.0	△9.9%
利用料金（受託事業等収入）	円	13,713,400	14,273,370	15,376,000	12,916,770	△9.5%
1人あたりの平均単価	円	4,961	4,845	4,960	4,845	0.0%

○ 入退所の状況

区分	人数	入所前・退所後の状況
入所者	1	相談支援事業所シグナルから紹介
退所者	8	家庭の都合4名、体調不良3名、他のサービス利用1名
増減	△7	

○ 利用者の状況

地 域 別	浜松市							磐田市			合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				42	
	13	13	0	3	0	12	0	1				
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性 別	男	女		
	1	3	5	8	5	6	14		23	19		
障 害 支 援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分 未判定					
	4	3	1	4	4	0	26					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	19	6	4	4	2	2	5	0	2	0		

- ・4月から6月にかけて、新型コロナウイルス感染症予防のため利用を自粛する者が多かった。
- ・体調不良や家庭の都合、他のサービス利用等で8人が退所し、12月に、生活介護や就労支援事業等の事業所に適応できない利用者1名が新規利用となった。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染者発生に伴い、1日の平均利用人数は前年度より減少した。
- ・基礎的事業として、季節に合わせた創作活動を実施するとともに、機能強化事業として脳トレーニングゲームやレクレーション、体操、園芸等の諸活動、絵手紙、ケア体操等の外部講師による教室活動を実施した。
- ・ボッチャやサークルボール、テーブル卓球等の身体を動かす企画や、演奏会等音を楽しむ活動を行った。
- ・障害者週間(11/28～12/2)に合わせ、創作活動で制作した作品を、東区役所に展示した。
- ・生活介護や就労支援事業等の事業所に適応できない利用者を、体験利用も含め、相談支援事業所と連携して受け入れた。さらに不登校や引きこもりなど、若年者の見学や体験を受け入れた。

《活動の様子》

サークルボール



園芸



障害者週間展示



【 14 】 身体障害者福祉センター

【根拠法令等:身体障害者福祉法第31条】

項 目		単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
趣味余暇活動としての講座	開催回数	回	176	184	244	237	28.8%
	延べ人数	人	1,341	1,409	2,540	1,505	6.8%
	1回平均	人	7.6	7.7	10.4	6.4	△17.1%
レクリエーションのための 便宜の供与	実施回数	回	15	20	16	9	△55.0%
	延べ人数	人	110	139	100	66	△52.5%
	1回平均	人	7.3	7.0	6.3	7.3	5.5%

- ・地域の障害のある人の社会参加、余暇活動支援として、12講座及び特別講座を実施した。
- ・書道講座では遠鉄百貨店のギャラリー・ロゼで書道展を開催(雲龍書院との共催)し、利用者の作品を展示した。
- ・パソコン講座、アイパッド講座を、地域の障害のある人が広く参加できるよう、今年度から地域活動支援センターの活動から身体障害者福祉センターへ移行して実施した。
- ・全国障害者総合福祉センター(戸山サンライズ)で開催された「障害者による書道・写真全国コンテスト」へ講座受講者の作品を応募した。また、浜松市福祉交流センターで開催された「障がい者アート展示会」に講座受講者の作品を出展した。
- ・レクリエーションのための便宜の供与として、書道講座修了者の自主講座を実施したが、講師の体調不良等により実施回数及び延べ人数が減少した。

【 15 】 障害者体育館・プール

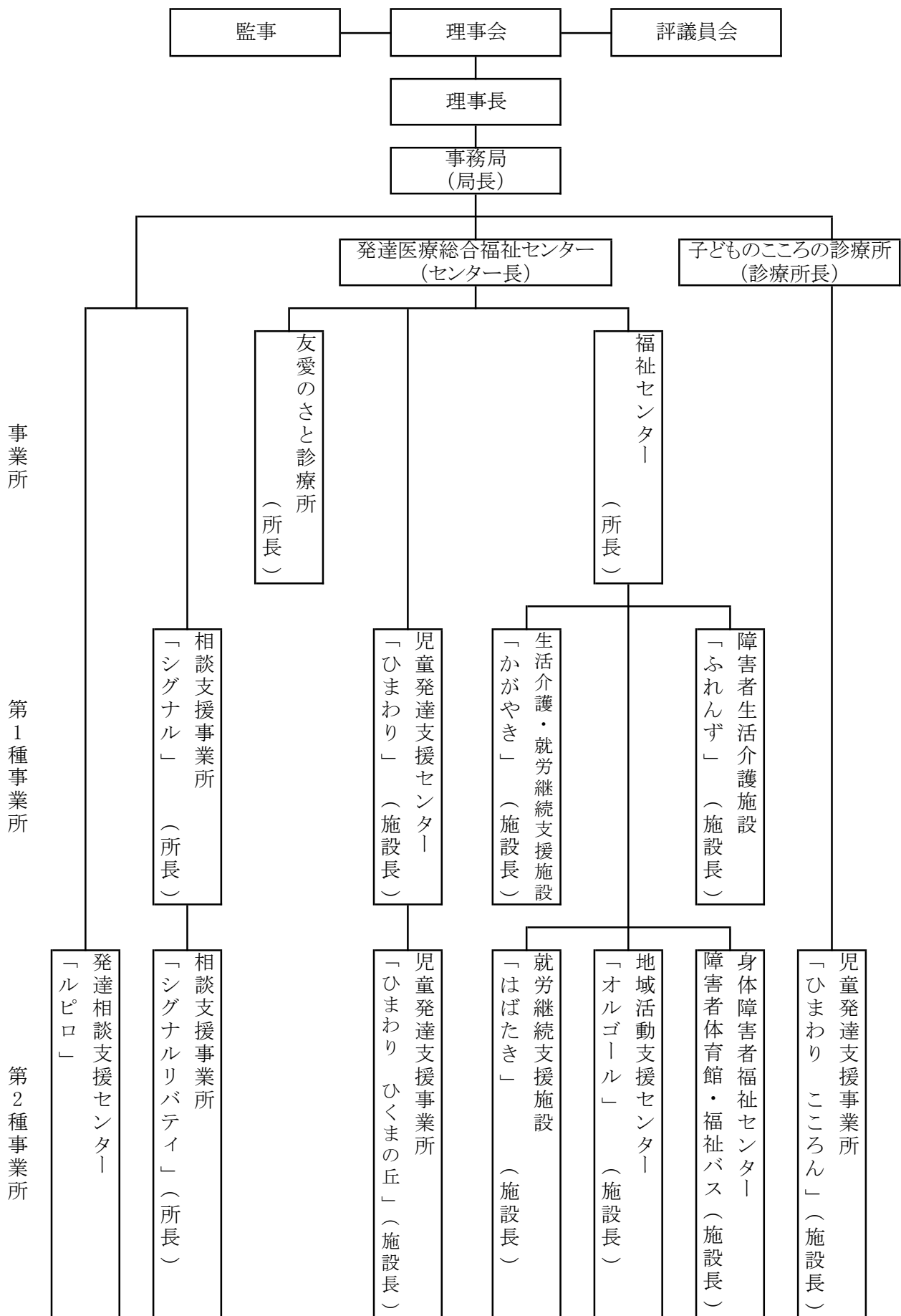
※利用者数には介助者を含む。

項 目			単位	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	対前年度 増減率
体 育 館	センター内利用	利用日数	日	224	226	200	234	3.5%
		延べ人数	人	9,825	10,647	9,900	10,045	△5.7%
		1日平均	人	43.9	47.1	49.5	42.9	△8.9%
	一般開放	利用日数	日	43	49	50	48	△2.0%
		延べ人数	人	11	94	200	142	51.1%
		1日平均	人	0.3	1.9	4.0	3.0	57.9%
	団体貸出	利用日数	日	40	53	150	4	△92.5%
		延べ人数	人	708	985	3,800	44	△95.5%
		1日平均	人	17.7	18.6	25.3	11.0	△40.9%
体育館合計		延べ人数	人	10,544	11,726	13,900	10,231	△12.7%

プ ー ル	センター内利用	利用日数	日	101	91	150	88	△3.3%
		延べ人数	人	1,978	1,916	2,900	1,955	2.0%
		1日平均	人	19.6	21.1	19.3	22.2	5.2%
	一般開放	利用日数	日	110	70	140	129	84.3%
		延べ人数	人	828	774	1,500	1,175	51.8%
		1日平均	人	7.5	11.1	10.7	9.1	△18.0%
	団体貸出	利用日数	日	84	45	100	83	84.4%
		延べ人数	人	473	263	1,000	494	87.8%
		1日平均	人	5.6	5.8	10.0	6.0	3.4%
プール合計		延べ人数	人	3,279	2,953	5,400	3,624	22.7%

- ・新型コロナウイルス感染症予防の為、一回あたりの利用人数を制限するなど、感染対策を実施した上で事業を実施した。
- ・体育館利用では、定期的に利用していた外部団体が、新型コロナウイルス感染症予防のため利用を控えたことが影響し、利用回数、延べ人数ともに前年度より減少した。

【 16 】 法人組織・職員構成
 ≪組織図≫



《職員構成》

令和5年3月31日現在

施設等 職種	事務局長	事務局	発達医療総合福祉センター											子どものこころの診療所	ひまわり こころん	計	
			相談支援事業所 シグナル	相談支援事業所 シグナルリバイ テイ	発達相談支援センター ルピロ	友愛のさと診療所	ひまわり	ひまわり ひくまの丘	福祉センター								ふれんず
									身体障害者福祉センター	地域活動支援センター	かがやき	はばたき					
支援員	(1)	5 (2)	11	1	3	2 (7)	2 (6)	1	3 (13)	(3)	6 (9)	3 (4)	2 (11)	6 (3)	(1)	45 (60)	
医師						5 (11)								3 (5)		8 (16)	
保健師			2			(1)								1		3 (1)	
看護師						3 (5)	2 (1)				(1)		4 (1)	4		13 (8)	
臨床心理士						7 (5)	3	(1)						3 (2)	(1)	13 (9)	
診療放射線技師						1										1	
臨床検査技師						1										1	
言語聴覚士						3 (1)								5		8 (1)	
理学療法士						7 (1)	1				1		(1)			9 (2)	
作業療法士						4 (1)	1 (1)									5 (2)	
視能訓練士						1										1	
管理栄養士							1									1	
保育士			6	2			21 (11)	1 (2)							2	32 (13)	
計	(1)	5 (2)	19	3	3	34 (32)	31 (19)	2 (3)	3 (13)	(3)	7 (10)	3 (4)	6 (13)	22 (10)	2 (2)	140 (112)	
内数:産休・育休職員					1	2 (1)	5									8 (1)	

※ ()内の数字は非常勤医師、再雇用職員、準職員及び臨時職員の人数で外書き。

※ 産休・育休職員、代替臨時職員含む。

○資格保有者数

社会福祉士			8		3		3 (1)	1			3 (2)	1	1 (1)	3		23 (4)
精神保健福祉士			1						1		1 (1)			2		5 (1)
介護福祉士			3						2	(1)	2 (1)	2 (1)	2 (8)			11 (11)

※ ()内の数字は、再雇用職員、準職員及び臨時職員の人数で外書き。

※ 重複資格保有者を含む。